

和歌山の水産

令和2年



和歌山県
農林水産部 水産局

本県水産業のあらまし

和歌山県は、我が国最大の半島である紀伊半島の西部に位置し、約 651 k mに及ぶリアス式海岸状の地形を有し、温暖な気候を利用して、水産業のほか農林業など一次産業を主体として栄えた地域です。

本県の海域は内海性の瀬戸内海と外洋性の太平洋に二分され、それぞれの海域特性に応じて各種漁業が営まれています。瀬戸内海海域では、タチウオやエビ類などを対象とした小型底びき網漁業、シラスやイカ類を対象とした機船船びき網漁業のほか、マダイやアジ類、サバ類を対象とした一本釣漁業等が営まれています。一方太平洋海域は、本州最南端の串本町沖合海域を流れる黒潮本流の離接岸に強い影響を受け、カツオやマグロ類を対象としたひき縄釣漁業、はえ縄漁業、イサキやマダイ、ブリ類等を対象とした一本釣漁業のほかアジ類やサバ類を対象としたまき網漁業、定置網漁業、棒受網漁業、イセエビや磯魚を対象とした刺網漁業等種々の漁業が営まれています。

内水面においては紀の川から熊野川まで豊かな清流に恵まれ、アユやアマゴ等の遊漁がおこなわれており、毎年県内外から多くの釣客が訪れています。また、紀の川、有田川、日高川及び富田川周辺地区では、これらの清流の伏流水を利用してアユ等の養殖業が営まれています。

近年の水産業は全国的に厳しい状況にありますが、本県においては、令和8年度を目標とする「和歌山県長期総合計画」を平成29年度に策定し、水産関係では「時代の変化に対応できる収益性の高い水産業」の実現に向け、各種施策を推進しています。

具体的には、公的規制と漁業者による自主的な取組の双方を組み合わせた資源管理やヒラメ、アワビ等の種苗放流、藻場回復等の磯根漁場の再生等による「資源管理対策の推進」、不漁に強い漁業経営グループの創出支援や、産地市場の拠点化支援等による「収益性の向上に向けた経営構造改革」、漁村の豊かな観光資源を活かしたブルーツーリズムによる「経営の多角化」を推進しているほか、次代につなぐ漁村づくり支援による「担い手の確保・育成」に取り組んでいます。

小誌は本県の水産業の現状を紹介したもので、水産関係者をはじめ各方面の方々にご活用頂ければ幸いに存じます。

[資料]

平成30年漁業・養殖業生産統計年報

2018漁業センサス

農林水産部水産局業務資料

県土整備部港湾空港局港湾漁港整備課業務資料

[表中に使用した符号]

—は、事実のないもの

χは、秘密保護のため統計数値を公表しないもの

…は、事実不詳又は調査を欠くもの

表紙写真 令和元年7月に再開した商業捕鯨の捕鯨船(太地町漁業協同組合)と鯨料理

目 次

I	和歌山県水産業の概要	
1	和歌山県漁業の全国に占める位置	1
(1)	漁業生産構造	1
(2)	生産量・産出額の占める割合	1
(3)	生産量・産出額の順位	2
2	漁業生産構造	3
(1)	漁業経営体	4
(2)	漁業世帯・漁業就業者	5
(3)	漁船	6
(4)	漁港	6
(5)	漁業権免許状況	6
(6)	漁業許可状況	7
3	漁業生産	9
(1)	漁業・養殖業部門別生産量	10
(2)	主要海面漁業・養殖業種類別生産量	10
(3)	海面漁業魚種別漁獲量	11
(4)	海面養殖業収獲量	16
(5)	内水面漁業・養殖業生産量	17
(6)	漁業産出額	18
4	水産加工	22
II	漁業振興施策	25
(1)	磯根漁場再生事業	26
(2)	漁業経営構造改善事業	27
(3)	水産基盤整備事業(漁場整備)	27
(4)	水産基盤整備事業等(漁港整備)	29
(5)	栽培漁業推進対策事業	30
(6)	内水面漁業振興対策事業	31
(7)	金融対策事業	32
(8)	プレミアム和歌山認定品	33
(9)	魚食普及・漁業体験交流活動	34
III	組織等	35
(1)	和歌山県水産行政機構	35
(2)	水産関係予算	36
(3)	水産団体	37

I 和歌山県水産業の概要

1 和歌山県漁業の全国に占める位置（平成30年）

海面及び内水面漁業の生産量は、平成29年に比べ3,788トン(17%)減少して18,726トンになり、全国34位であった。魚種別漁獲量で全国的に上位を占めている種類は、タチウオが703トンとなり全国の11%を占め3位、イセエビが125トンとなり全国の11%を占め3位に、また、ムロアジ類が922トンで全国の5%を占め5位になっている。また、海産ほ乳類は102トンと全国の30%を占め2位となっている。ほか、イサキ、チダイ・キダイが10位以内に入っている。養殖業の生産量ではクロマグロが869トンで全国の5%を占め6位、マダイが1,599トンで全国の3%を占め6位であった。また、内水面養殖アユは788トンで全国の18%を占め2位であった。

海面漁業の産出額は5億5,300万円(7%)減少して79億900万円で全国28位、海面養殖業の産出額は47億7,900万円で全国21位であった。海面漁業・養殖業の合計の産出額は126億8,800万円であり、全国30位であった。

(1) 漁業生産構造

項目	単位	和歌山県 (A)	全国 (B)	(A) / (B) %
漁業経営体	経営体	1,581	79,067	2.0
漁業就業者数	人	2,402	151,701	1.6
自営漁業就業者数	人	1,533	86,943	1.8
漁業雇われ就業者数	人	869	64,758	1.3
使用漁船隻数	隻	2,327	132,201	1.8

* 2018漁業センサスより

(2) 生産量・産出額の占める割合

(生産量：t 産出額：百万円)

項目			和歌山県 (A)	全国 (B)	(A) / (B) %
生産量	海面	漁業	15,197	3,359,456	0.5
		養殖業	2,721	1,004,871	0.3
		小計	17,918	4,364,327	0.4
	内水面	漁業	9	26,957	0.03
		養殖業	799	29,849	2.7
		小計	808	56,806	1.4
合計		18,726	4,421,133	0.4	
産出額	海面	漁業	7,909	937,726	0.8
		養殖業	4,779	486,064	1.0
	合計		12,688	1,423,790	0.9

* 平成30年漁業・養殖業生産統計(令和元年5月現在)より

* 捕鯨業を除く

(3) 生産量・産出額の順位

平成30年 漁業総生産量および海面漁業産出額の全国順位

(生産量：t 産出額：百万円)

項目		順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
総生産量	海面	合計	北海道	長崎	宮城	静岡	青森	三重	千葉	愛媛	岩手	広島	32位	和歌山
		漁業	北海道	長崎	茨城	静岡	宮城	千葉	三重	島根	宮崎	青森	31位	和歌山
		養殖業	北海道	広島	青森	兵庫	宮城	佐賀	愛媛	鹿児島	熊本	福岡	23位	和歌山
	内水面	漁業	北海道	島根	青森	茨城	岩手	新潟	神奈川	宮城	岡山	東京	32位	和歌山
		養殖業	鹿児島	愛知	宮崎	静岡	長野	福島	茨城	岐阜	山梨	和歌山	10位	和歌山
		合計	北海道	長崎	愛媛	宮城	鹿児島	静岡	青森	兵庫	高知	三重	30位	和歌山
産出額	海面	合計	北海道	長崎	愛媛	宮城	鹿児島	静岡	青森	兵庫	高知	三重	30位	和歌山
		漁業	北海道	長崎	宮城	静岡	青森	岩手	兵庫	高知	三重	宮崎	28位	和歌山
		養殖業	愛媛	鹿児島	北海道	長崎	熊本	佐賀	高知	大分	兵庫	宮城	19位	和歌山

注：生産量のうち海面養殖業及び合計については茨城県・東京都が、内水面漁業については福井県・山梨県・滋賀県・兵庫県鹿児島県が、内水面養殖業については大阪府・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。また、生産額のうち海面漁業及び海面養殖業については茨城県・東京都が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：生産量・産出額は共に都道府県の積み上げ値であり、捕鯨業は除く。

平成30年 全国10位以内に入る主な漁業種類

(単位：t)

区分	全国値	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
近海まぐろはえ縄	38,426	高知	宮城	宮崎	沖縄	大分	三重	和歌山			
ひき縄釣	13,663	高知	沖縄	長崎	福岡	宮崎	鹿児島	三重	兵庫	千葉	和歌山

平成30年 全国10位以内に入る主な魚種

(単位：t)

区分	全国値	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
たちうお	6,493	長崎	愛媛	和歌山	熊本	宮崎	大分	鹿児島	徳島	兵庫	三重
いせえび	1,187	三重	千葉	和歌山	静岡	徳島	宮崎	鹿児島	長崎	高知	東京
むろあじ類	17,392	長崎	宮崎	鹿児島	兵庫	和歌山	高知	愛媛	大分	静岡	山口
いさき	3,988	長崎	福岡	島根	山口	静岡	三重	千葉	和歌山	大分	愛媛
ちだい・きだい	6,278	長崎	島根	山口	福岡	千葉	石川	和歌山	鹿児島	新潟	福井
海産ほ乳類	344	岩手	和歌山	宮城	石川	静岡	高知	鹿児島	長崎	富山	島根
養殖くろまぐろ	17,641	長崎	鹿児島	高知	愛媛	三重	和歌山	大分			
養殖まだい	60,736	愛媛	熊本	高知	三重	長崎	和歌山	宮崎	静岡	鹿児島	香川
内水面養殖あゆ	4,310	愛知	和歌山	岐阜	滋賀	栃木	徳島	宮崎	静岡	熊本	大分

注：養殖まだいについては、千葉県・東京都・大阪府・兵庫県・山口県・徳島県・福岡県・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：養殖くろまぐろについては、京都府・山口県・熊本県・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：内水面養殖あゆについては、北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・福島県・東京都・新潟県・富山県・長野県・兵庫県奈良県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・愛媛県・高知県・福岡県・鹿児島県が秘密保護のため順位に含まれていない。

2 漁業生産構造

(1) 漁業経営体

平成30年の海面漁業経営体数は1,581経営体で、前回調査(平成25年(2013年漁業センサス))に比べて、452経営体(22%)減少した。経営組織別では、個人経営体は1,535経営体、団体経営体は46経営体で、前回調査に比べそれぞれ22%、19%減少した。

主とする漁業種類では、「釣」は657経営体(構成比42%)で最も多く、次いで「刺網」は390経営体(構成比25%)となっている。また、減少率では、まぐろ延縄(60%減少して6経営体)、小型定置網(45%減少して11経営体)などが顕著である。その他漁業では10経営体増加して47経営体に、まだい養殖では1経営体増加して12経営体となっている。

階層別では、動力漁船3トン未満階層が660経営体(構成比42%)、3～5トン階層が297経営体(構成比19%)であり、前回調査に比べそれぞれ20%、37%減少した。

10年間(平成20年と平成30年)の対比では、全体で932経営体(37%)減少している。

(2) 漁業就業者

平成30年の漁業就業者数は2,402人で、前回調査に比べ505人(17%)減少した。男子は521人(19%)減少して2,293人になった。60歳以上の男子漁業就業者は326人(20%)減少して1,287人になり、男子漁業就業者に占める構成比率は平成13年の63%をピークに減少しているが、依然として半数以上の54%であり、漁業者の減少及び高齢化を顕著に示している。

10年間(平成20年と平成30年)の対比では、1,520人(39%)減少している。

(3) 漁 船

登録動力漁船隻数は、漁業経営体数の減少に伴い、10年間(平成22年と令和元年の対比)に一本釣漁船が726隻(21%)、刺網が234隻(34%)、敷網が63隻(47%)、採介藻が35隻(23%)減少するなど、合計で1,387隻(25%)減少し、4,249隻になった。

平成30年末から令和元年末までの1年間では、一本釣が110隻(4%)、刺網が25隻(5%)減少するなど、全体として152隻(3%)減少している。

(4) 漁 港

県内の漁業地区に94漁港があり、その内訳は第4種漁港2港、第3種漁港4港、第2種漁港11港、第1種漁港77港である。

(5) 漁業権免許状況

海面には地先共同漁業権42件、つきいそ漁業権87件等の共同漁業権が135件、定置漁業権が11件、区画漁業権が135件、合計281件の漁業権が免許されている。

内水面には主にアユ、アマゴの第五種共同漁業権が10河川水系で23件が免許されている。

(6) 漁業許可状況

ア 知事許可漁業

小型機船底びき網漁業182件、機船船びき網漁業170件、敷網漁業230件、固定式刺網漁業613件等合計1,673件の漁業許可がされており、瀬戸内海区では底びき網漁業、船びき網漁業が、太平洋区では刺網漁業、敷網漁業が多い。

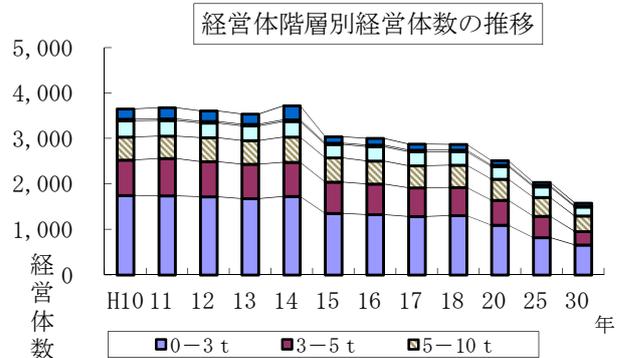
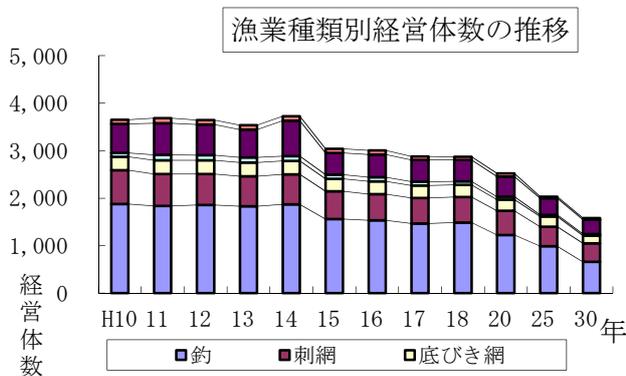
イ 大臣許可漁業

近海かつお・まぐろ漁業4件、小型捕鯨業2件、合計6件の許認可を受けているほか、沿岸まぐろはえ縄漁業が5件届出により操業している。

(1) 漁業経営体

区分		年次	H10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	25	30	
経営体階層別	漁船非使用		118	130	128	108	194	47	51	43	47	35	32	36	
	無動力		1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	
	動力	0-3トン		1,745	1,743	1,722	1,681	1,729	1,356	1,325	1,286	1,307	1,096	821	660
		3-5トン		786	818	788	755	752	689	679	630	620	547	470	297
		5-10トン		505	495	525	519	552	531	499	485	491	462	412	339
	船	10トン以上		355	339	324	324	344	294	320	309	292	279	235	200
	大型定置		6	8	8	9	9	9	9	9	9	8	8	6	4
	小型定置		29	31	31	29	29	24	25	24	25	24	20	20	11
	地びき網		17	13	7	16	18	6	12	15	11	…	…	…	…
	浅海養殖		89	103	93	96	94	82	87	87	77	69	65	37	34
	計		3,651	3,680	3,626	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033	1,581	
経営組織別	個人経営		3,510	3,519	3,478	3,377	3,564	2,911	2,854	2,738	2,733	2,403	1,976	1,535	
	漁業協同組合		9	5	7	9	9	8	9	8	8	4	4	4	
	漁業生産組合		10	17	9	8	8	6	6	5	6	4	3	1	
	共同経営		81	100	111	104	101	68	92	84	85	64	26	21	
	会社経営		37	35	34	35	35	40	40	39	33	36	24	19	
	その他		4	4	4	4	4	5	5	5	5	4	2	—	1
		計		3,651	3,680	3,643	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033	1,581
漁業種別	近海捕鯨		2	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	
	小型底びき網		288	291	287	283	282	265	269	262	252	236	210	165	
	まき網		17	19	20	17	20	19	19	18	18	17	10	9	
	刺網		708	672	654	637	632	581	549	536	540	514	411	390	
	釣		1,877	1,834	1,853	1,827	1,867	1,562	1,535	1,468	1,486	1,223	990	657	
	まぐろ延縄		45	43	35	37	39	27	30	26	23	19	15	6	
	その他の延縄		61	40	47	44	45	44	44	42	46	50	45	39	
	大型定置網		6	8	8	9	9	9	9	9	8	8	6	4	
	小型定置網		29	31	31	29	29	24	24	25	24	24	20	20	11
	敷網		80	114	113	108	106	85	88	80	76	59	40	32	
	地びき網		17	13	12	16	18	6	12	15	11	—	—	—	
	船びき網		109	126	131	117	122	97	108	105	97	81	72	64	
	採貝		207	275	243	218	258	165	165	150	150	178	138	122	
	採藻		45	61	62	49	142	19	13	12	13	—	—	—	
	その他漁業		70	49	48	48	56	51	52	52	54	42	37	47	
	真珠養殖		3	3	3	3	3	2	2	1	1	1	—	—	
	ぶり養殖		5	8	7	6	7	6	6	6	6	3	2	1	
	まだい養殖		49	48	48	48	44	42	44	43	34	27	11	12	
	のり類養殖		11	9	9	8	9	6	4	3	1	6	—	—	
わかめ類養殖		6	17	14	14	14	10	14	13	14	17	15	12		
その他養殖		16	18	16	17	17	16	17	11	13	11	9	9		
	計		3,651	3,680	3,643	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033	1,581	

※平成20年(2008年漁業センサス)以降、経営組織別のその他に官公庁・学校など試験研究機関は含まれていない
 ※平成20年(2008年漁業センサス)以降、敷網と地びき網はその他網漁業に含まれる
 ※平成19年以降の漁業経営体については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている
 ※平成14年のみ海上作業従事日数30日未満を含む

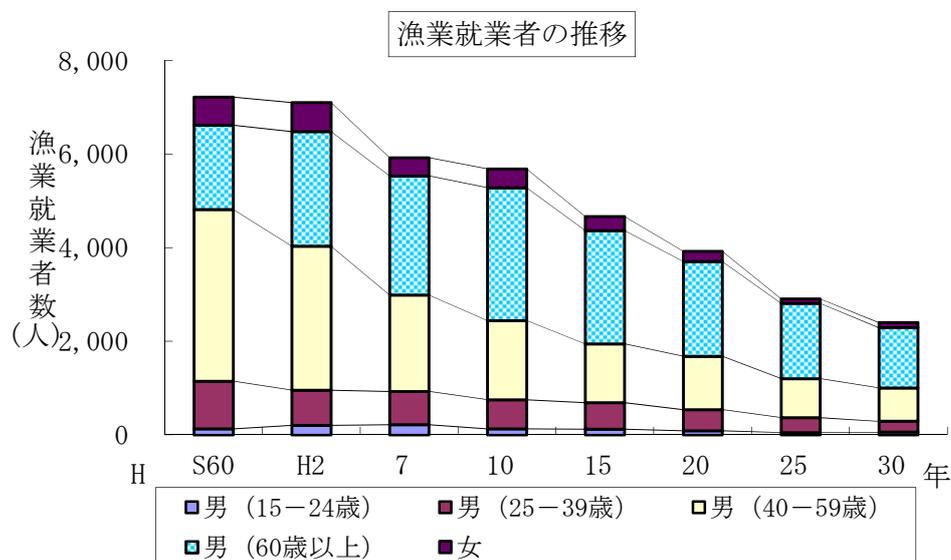


(2) 漁業世帯・漁業就業者

区分		年次	S60	H2	7	10	11	12	13	14	15	20	25	30
世帯数	個人漁業経営体		4,300	4,170	3,830	3,510	3,520	3,480	3,440	3,440	2,911			
	漁業従事者世帯		1,930	1,860	1,210	1,401	1,320	1,300	1,290	1,290	1,143			
	合計		6,230	6,030	5,040	4,911	4,840	4,780	4,730	4,730	4,054			
世帯員数	男	14歳以下	2,900	890	1,100	864	930	790	760	830	701	346	240	107
		15歳以上	9,310	6,510	7,230	6,868	6,730	6,810	6,790	6,660	5,512	3,364	2,739	2,074
		小計	11,300	7,400	8,330	7,732	7,660	7,600	7,550	7,490	6,213	3,710	2,979	2,181
	女	14歳以下	1,750	1,030	1,290	876	930	800	910	1,060	660	320	214	108
		15歳以上	9,320	6,280	6,920	6,691	6,560	6,650	6,530	6,330	5,110	3,403	2,349	1,722
		小計	11,070	7,310	8,200	7,567	7,490	7,450	7,440	7,390	5,770	3,364	2,563	1,830
合計	22,370	14,710	16,530	15,299	15,150	15,020	14,960	14,880	14,880	11,983	7,113	5,542	4,011	
漁業就業者数	男	15-24歳	130	210	220	130	120	110	110	90	127	88	51	61
		25-39歳	1,020	750	710	620	660	580	520	560	565	454	322	234
		40-59歳	3,670	3,070	2,060	1,693	1,450	1,310	1,280	1,350	1,251	1,139	828	711
		60歳以上	1,800	2,450	2,540	2,835	3,100	3,230	3,290	3,190	2,423	2,022	1,613	1,287
		(男に占める割合%)	(27.2)	(37.8)	(45.8)	(53.7)	(58.2)	(61.9)	(63.3)	(61.5)	(55.5)	(54.6)	(57.3)	(56.1)
	小計	6,620	6,480	5,540	5,278	5,330	5,220	5,200	5,190	4,366	3,703	2,814	2,293	
	女	600	620	390	404	360	360	320	310	302	219	93	109	
合計	7,220	7,100	5,930	5,682	5,690	5,580	5,520	5,500	4,668	3,922	2,907	2,402		

※平成16年以降、世帯数の調査は実施されていない。

※平成16年以降の漁業就業者数については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている。



(3) 漁 船 (令和元年12月末現在)

ア 漁業種別動力漁船隻数

区分	年次										
	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	
採介藻	149	141	135	121	122	122	120	122	115	114	
定置網	90	91	91	84	80	80	77	75	69	69	
一本釣	3,443	3,385	3,328	3,312	3,229	3,166	3,085	2,993	2,827	2,717	
はえなわ	15	15	13	14	14	14	12	12	10	10	
刺網	695	680	659	603	590	560	540	517	486	461	
まき網	24	24	23	20	22	22	18	19	18	18	
まき網附属船	68	66	62	60	56	57	58	54	57	54	
敷網	135	134	129	114	104	103	96	87	79	72	
底びき網	259	255	250	237	232	201	186	185	180	181	
ひき網	264	251	226	211	202	192	192	188	177	174	
かつおまぐろ	17	16	15	14	13	12	6	6	6	5	
捕鯨	6	6	6	9	9	9	9	9	9	10	
官公庁船	37	37	38	44	45	48	49	48	50	49	
運搬船	130	125	114	111	109	105	98	96	93	94	
雑漁業	304	303	295	260	253	251	246	237	225	221	
合計	5,636	5,529	5,384	5,214	5,080	4,942	4,792	4,648	4,401	4,249	

イ トン数階層別・機関種類別動力漁船隻数

区分	年次			
	H30	R1		
無動力	54	54		
動力階層別	トン数	0-3 t	2,739	2,644
		3-5 t	770	740
		5-10 t	675	652
		10-20 t	210	207
		20-30 t	0	0
		30-50 t	5	5
		50-100 t	1	1
		100 t以上	1	0
		小計	4,401	4,249
		機関種類別	船	ジーゼル
電気点火	1,488			1,439
小計	4,401			4,249
合計隻数	4,455	4,303		
合計トン数	14,986	14,097		
合計馬力数	339,632	334,360		

(4) 漁 港 (令和元年)

港種別漁港数

第1種	第2種	第3種	第4種	合計
77	11	4	2	94

(5) 漁業権免許状況 (令和2年3月末現在)

ア 海面

種類	共同				定置
	地先	つきいそ	飼付	計	
件数	42	87	6	135	11

種類	特定区画										合計
	わかめ	ひろめ	ひじき	ひおうぎ	あわび	かき	魚類	くろまぐろ	あわび地蒔	計	
件数	35	32	2	5	1	10	45	4	1	135	281

イ 内水面

第五種共同漁業権 23件(あゆ、あまご、こい、うなぎ、もくずがに)

(6) 漁業許可状況

ア 知事許可漁業

(令和2年4月1日現在)

漁業種類	海 区		瀬 戸 内 海 区					太 平 洋 区					計	
	郡	市	和歌山市	海南市	有田市	有田郡	日 高 郡	御坊市	田辺市	西牟婁郡	新宮市	東牟婁郡		
底びき	瀬戸内海及び外海		46	6	104	19	3	—	—	—	—	—	178	
	餌びき		—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	
船びき	瀬戸内海		16	8	38	42	2	—	—	—	—	—	106	
	外海		—	—	—	—	—	6	—	16	—	4	26	
	さより		4	12	—	16	—	—	—	6	—	—	38	
まき網	中型	1 そう	—	—	—	—	—	4	—	1	—	1	2	8
		2 そう	—	—	—	—	2	—	2	4	—	—	—	8
	小型	1 そう	—	—	—	—	—	—	—	3	—	1	—	4
		2 そう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	このしろ		4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
小型定置網		1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
ごち網		—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	6	
敷網	さんま		—	—	—	—	—	4	—	—	1	1	39	45
	あじ・さば		—	—	—	—	—	77	9	6	6	—	87	185
いか玉		4	3	—	4	21	2	—	—	—	—	—	34	
流し網(さんま)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	9	10	
固定式刺網	磯建		—	—	—	—	8	102	43	19	26	—	90	288
	えび刺		—	—	—	—	29	—	—	—	25	—	108	162
	底刺		—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	19	20
	磯建・底刺		—	—	—	—	—	—	—	—	25	—	—	25
	磯建・建網		—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	5
	えび刺・底刺		—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	2
	えび刺・磯建		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111	111
その他の刺網	磯打		—	—	—	—	20	31	—	24	99	—	140	314
	このしろ・ぼら刺		—	—	—	17	—	—	5	—	—	—	—	22
	あじ囲刺		—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	あおりいか刺		—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	4
いるか突棒		—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	44	55	
鯨類追込網		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	
さんご		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	
合 計			75	29	148	102	91	227	59	81	189	21	651	1673



まき網の操業と水揚げ作業(日高町)

イ 大臣許可漁業等

(令和2年3月末現在)

区分		市町名	由良町	みなべ町	田辺市	串本町	太地町	那智勝浦町	計	備考
かつおまぐろ漁業	遠洋		—	—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	—	
	近海	新近海	—	—	—	—	—	—	—	
		新小型	1	1	1	1	—	—	4	許可
	小計	1	1	1	1	—	—	4	〃	
合計	1	1	1	1	—	—	4	〃		
小型捕鯨業			—	—	—	—	2	—	2	〃
沿岸まぐろはえ縄漁業			1	1	1	1	—	1	5	届出

(参考)

漁業違反に対する指導・検挙実績及び漁船安全指導件数（ライフジャケット着用等）

年 度	法令指導	検挙 (行政処分を含む)	安全指導	計
平成26年度	149	10	40	199
平成27年度	87	2	13	102
平成28年度	117	2	4	123
平成29年度	84	6	7	97
平成30年度	70	0	14	84
令和元年度	83	0	2	85



漁業取締船「はやぶさ」平成28年12月竣工
総トン数38トン 最大速力36.0ノット



漁業取締船「みさき」平成14年7月竣工
総トン数39トン 最大速力45.8ノット

3 漁業生産(平成30年)

(1) 漁業・養殖業生産量

平成30年の海面漁業・養殖業生産量は17,918トンで、前年に比べ3,544トン(17%)減少した。漁業種類別では海面養殖業で60トン(2%)増加した一方で、中・小型まき網で2,038トン(25%)、船びき網漁業で685トン(30%)、大型定置網で466トン(19%)減少したことなどによる。魚種別では、サバ類が471トン(113%)増加した一方で、マアジが1,216トン(45%)、ウルメイワシが852トン(69%)、シラスが680トン(30%)、ムロアジ類が498トン(35%)減少したことなどによる。平成30年の内水面漁業・養殖業生産量は808トンで、前年に比べ244トン(23%)減少した。

項目	単位：t			
	平成30年	29年	対前年差	対前年増減率 %
漁業・養殖業合計	18,726	22,514	△ 3,788	△ 16.8
海面漁業・養殖業計	17,918	21,462	△ 3,544	△ 16.5
海面漁業	15,197	18,801	△ 3,604	△ 19.2
海面養殖業	2,721	2,661	60	2.3
内水面漁業・養殖業	808	1,052	△ 244	△ 23.2
内水面漁業	9	7	2	28.6
内水面養殖業	799	1,045	△ 246	△ 23.5

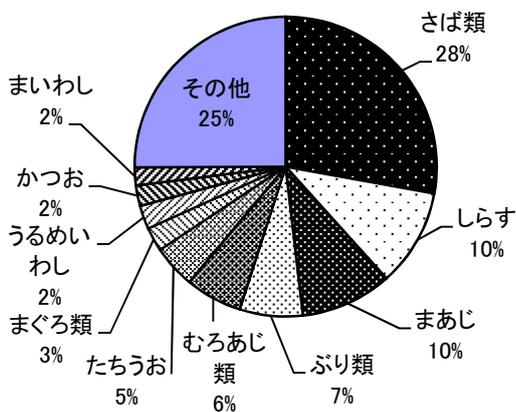
(2) 漁業・養殖業産出額(海面)

平成30年の海面漁業・養殖業産出額の合計は126億8,800万円で、海面漁業産出額が前年に比べ5億5,300万円(7%)減少して、79億900万円であり、海面養殖業が47億7,900万円であった。魚種別にみると、養殖マダイが1億4,100万円(14%)、増加した一方で、イセエビが2億3,500万円(30%)、マアジが2億3,300万円(33%)、カツオが1億3,400万円(38%)減少したことなどによる。

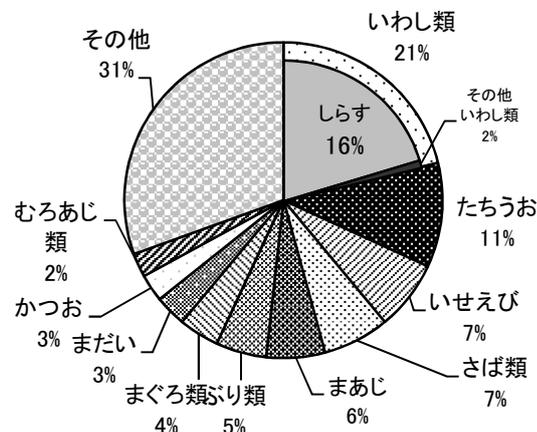
項目	単位：百万円			
	平成30年	29年	対前年差	対前年増減率 %
海面漁業・養殖業計	12,688	13,380	△ 692	△ 5.2
海面漁業	7,909	8,462	△ 553	△ 6.5
海面養殖業*	4,779	4,918	△ 139	△ 2.8
(参考)種苗*	1,530	1,917	△ 387	△ 20.2

* 平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないこととなったため、平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない。また、種苗の産出額については参考値として掲載した。

海面漁業魚種別漁獲量の構成比(H30)



海面漁業魚種別産出額の構成比(H30)



(1) 漁業・養殖業部門別生産量

(単位：t)

年次・海区	合計	海面					内水面 漁業・ 養殖業
		計	遠洋漁業	沖合漁業	沿岸漁業	養殖業	
全国H30	4,421,133	4,364,327	349,388	2,041,678	968,390	1,004,871	56,806
21	31,529	30,429		27,323		3,106	1,100
22	32,738	31,584		28,598		2,986	1,154
23	31,305	30,231		28,361		1,871	1,074
24	27,409	26,445		24,896		1,549	964
25	26,372	25,391		23,638		1,753	981
26	26,010	25,000		22,356		2,644	1,010
27	26,744	25,746		22,901		2,845	998
28	25,750	24,692		22,170		2,522	1,058
29	22,514	21,462		18,801		2,661	1,052
30	18,726	17,918		15,197		2,721	808
瀬戸内海区	-	5,987		5,886		101	-
太平洋南区	-	11,930		9,311		2,619	-

※漁船漁業には、漁船非使用漁業を含む。

※平成19年調査より稼働量調査が一部漁業に限定されたため、都道府県別の部門別生産量の把握はなし。

(2) 主要海面漁業・養殖業種類別生産量

(単位：t)

年次	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
漁業種類										
合計	30,429	31,584	30,231	26,445	25,391	25,000	25,746	24,692	21,462	17,918
海面漁業計	27,323	28,598	28,361	24,896	23,638	22,356	22,901	22,170	18,801	15,197
小型底びき網	2,940	2,364	2,747	2,894	2,520	2,707	2,543	2,482	2,321	2,278
船びき網	1,703	2,277	2,931	2,882	2,449	2,342	1,810	3,159	2,281	1,596
中・小型まき網	11,852	13,891	13,276	9,772	9,991	9,474	11,672	9,994	8,187	6,149
刺網	612	599	441	425	395	445	378	387	326	299
敷網	χ	χ	73	13	70	χ	χ	χ	χ	χ
大型定置網	2,221	2,667	2,762	2,623	2,688	2,840	2,567	2,768	2,404	1,938
小型定置網	767	756	852	757	639	χ	640	651	519	386
その他の網漁業	1,248	1,109	979	943	750	786	734	415	337	359
近海まぐろはえ縄	χ	157	101	65	55	229	244	304	252	294
沿岸まぐろはえ縄	980	745	770	728	625	296	221	χ	31	38
その他のはえ縄	152	173	175	176	171	154	χ	197	218	216
沿岸かつお一本釣	641	χ	395	270	350	187	61	χ	χ	χ
沿岸いか釣	60	38	102	82	52	35	16	16	27	28
ひき縄釣	1,710	2,030	880	1,735	1,196	402	422	489	480	314
その他の釣	995	775	818	726	619	604	618	586	540	436
採貝・採藻	731	278	748	452	764	797	533	418	582	631
その他の漁業	459	253	312	354	305	241	233	207	202	155
海面養殖業計	3,106	2,986	1,871	1,549	1,753	2,644	2,845	2,522	2,661	2,721
ぶり類	223	248	108	42	44	51	59	43	41	51
しまあじ	23	32	37	32	38	41	36	42	69	67
まだい	2,079	1,827	1,221	1,175	1,257	1,496	1,561	1,527	1,492	1,599
くろまぐろ	89	203	867	1,045	796	945	869
その他の魚類	628	709	356	45	50	48	49	40	36	41
貝類	χ	50	43	44	30	22	13	10	7	χ
くるまえび	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ
海藻類	87	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	71

(3) 海面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

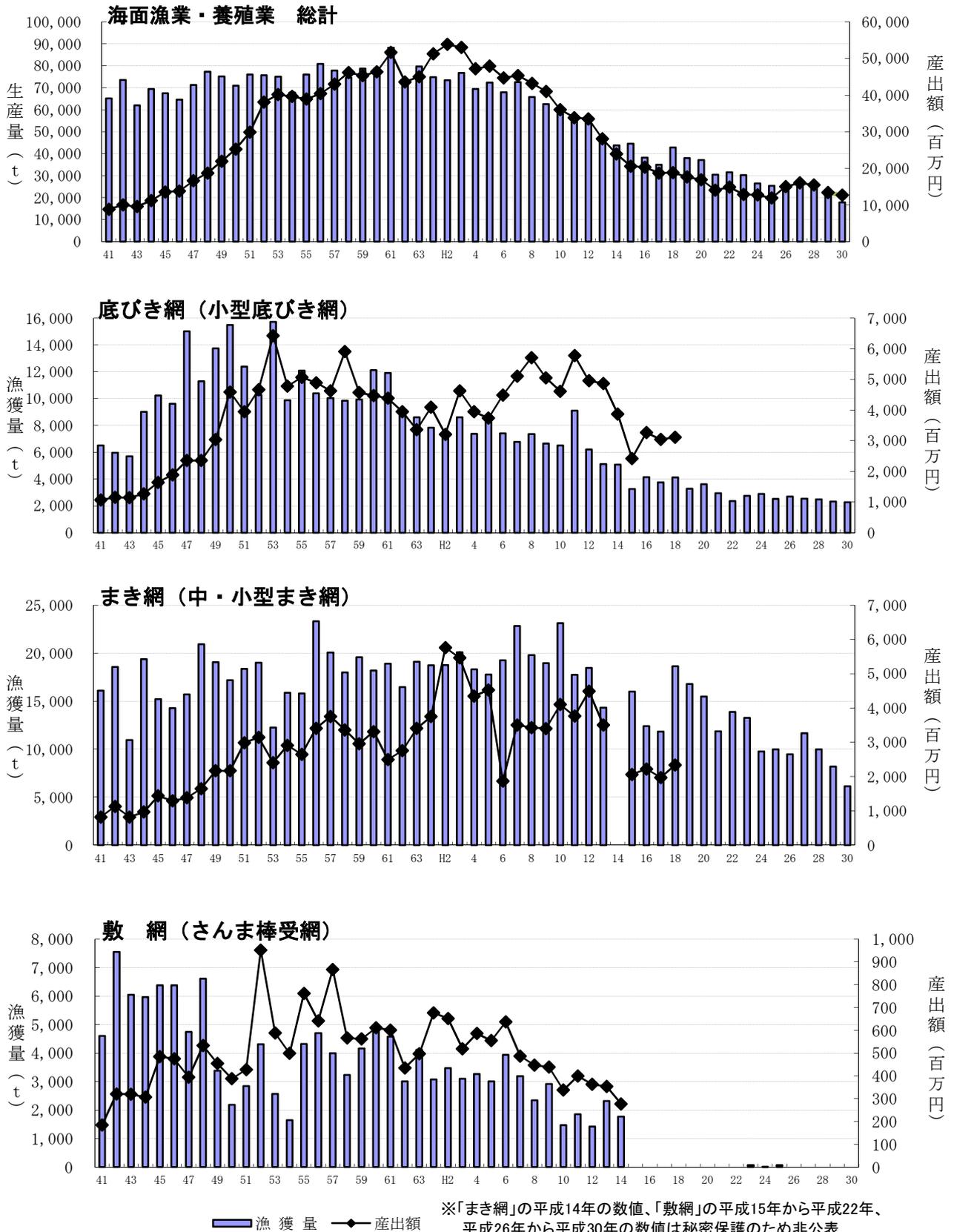
魚種	年次	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
魚類	くろまぐろ	89	63	60	94	203	51	20	39	38	11
	みなみまぐろ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	びんなが	825	716	663	701	463	340	349	183	209	208
	めばち	127	94	χ	79	49	68	23	χ	21	35
	きはだ	305	282	432	284	249	162	164	χ	130	139
	その他のまぐろ類	1	2	χ	0	0	-	-	-	-	-
	まかじき	30	29	22	30	30	19	11	14	15	9
	めかじき	24	15	12	10	9	χ	χ	χ	χ	χ
	くろかじき類	50	48	32	15	31	χ	χ	χ	χ	χ
	その他のかじき類	3	2	1	1	1	2	0	2	1	1
	かつお	1,756	1,942	715	1,475	1,158	375	313	450	462	336
	そうだがつお	224	511	186	711	369	272	168	217	134	66
	さめ	75	57	97	73	78	69	113	61	30	36
	このしろ	1	0	0	1	0	0	0	χ	χ	χ
	まいわし	507	787	1,319	720	932	1,899	1,839	2,107	516	294
	うるめいわし	1,007	1,178	971	1,307	1,966	1,568	2,103	1,337	1,238	386
	かたくちいわし	328	206	347	231	194	224	323	259	109	25
	しらすじ	1,448	2,160	1,925	2,794	2,408	2,327	1,794	3,162	2,277	1,597
	まあじ類	2,884	1,991	2,017	1,118	1,446	1,525	1,390	1,134	2,703	1,487
	むろあじ類	3,217	2,351	3,536	2,530	2,429	2,181	2,296	3,239	1,420	922
	さば類	6,430	9,229	7,517	5,938	4,984	4,012	5,395	3,467	3,768	4,239
	さんま	94	143	180	128	120	132	44	χ	3	χ
	ぶり類	604	941	966	762	825	876	1,055	1,086	997	1,028
	ひらめ	39	33	45	29	30	42	28	29	32	37
	かれい類	80	78	65	73	67	76	65	61	32	18
	にぎす類	37	40	11	29	-	-	-	-	-	-
	あなご類	11	9	7	5	5	7	4	χ	χ	χ
	たちうお	1,835	1,068	1,107	1,106	966	1,065	728	990	685	703
	まだい	243	253	311	269	199	287	306	251	279	210
	ちだい・きだい	80	77	116	132	125	157	201	145	154	177
くろだい・へだい	64	54	74	66	52	56	68	51	72	82	
いさき	240	216	229	208	196	186	207	215	165	144	
さわら類	141	110	121	145	156	249	292	338	140	141	
すずき類	20	24	34	40	21	31	21	8	20	19	
いかなご	-	25	530	17	-	0	0	-	-	0	
あまだい類	3	4	3	3	3	4	5	5	4	3	
ふぐ類	64	101	97	133	115	145	148	117	102	99	
その他の魚類	1,868	2,280	2,113	1,809	1,787	2,216	2,033	1,758	1,715	1,480	
計	24,754	27,117	25,956	23,066	21,666	20,648	21,523	20,918	17,481	13,947	
その他の水産動物	いせえび	175	171	166	169	161	170	166	147	125	125
	くるまえび	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
	その他のえび類	179	155	157	221	162	91	75	104	88	67
	がざみ類	1	1	1	2	2	2	2	3	3	1
	その他のかに類	6	6	4	5	5	5	4	2	3	4
	するめいか	313	215	238	228	229	180	84	60	54	71
	その他のいか類	685	385	765	387	325	211	249	294	249	183
	たこ類	94	50	64	44	62	45	35	32	29	38
うに類	9	10	10	13	12	12	11	15	9	6	
その他の水産動物類	38	40	54	45	37	37	χ	27	24	22	
計	1,501	1,034	1,462	1,115	996	753	χ	684	583	517	
海産ほ乳類	341	174	201	265	215	162	χ	145	150	102	
貝類	あわび類	21	17	13	11	12	12	10	10	10	9
	さざえ	24	19	16	20	33	25	18	24	16	15
	あさり類	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	その他の貝類	52	48	63	29	40	55	38	58	46	34
計	98	84	91	61	85	92	65	92	72	58	
海藻類	630	191	652	389	676	703	471	332	513	573	
合計	27,323	28,598	28,361	24,896	23,638	22,356	22,901	22,170	18,801	15,197	

※その他の魚類は、めめけ類、にべぐち類、えそ類、いぼだい、はも、えい類、しいら類、とびうお類、ぼら類を含む。

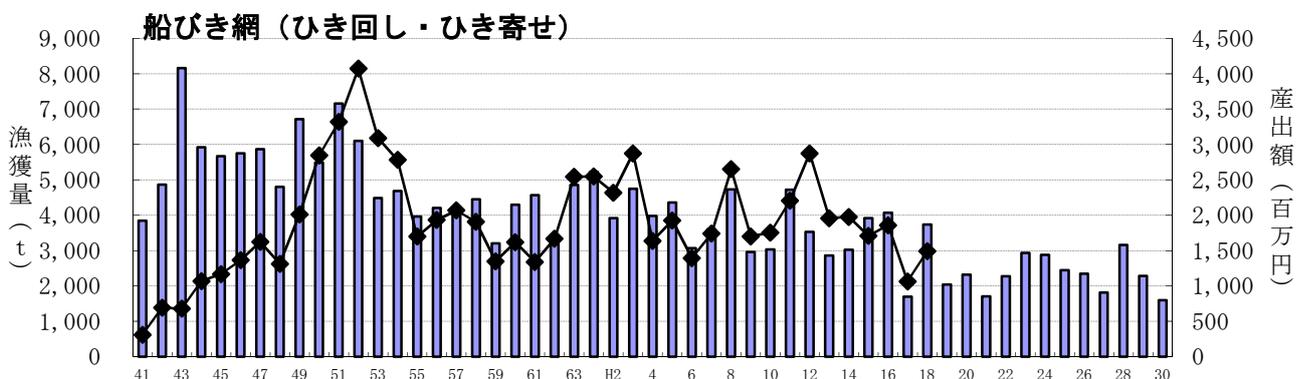
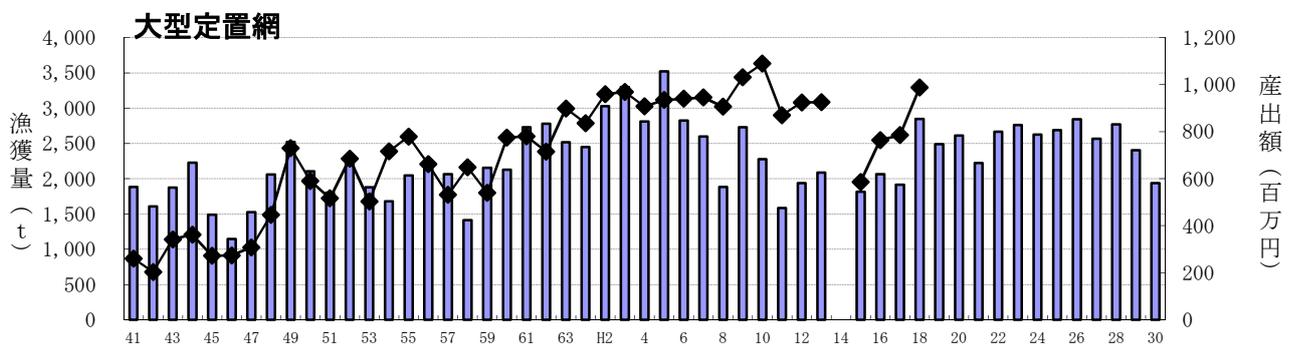
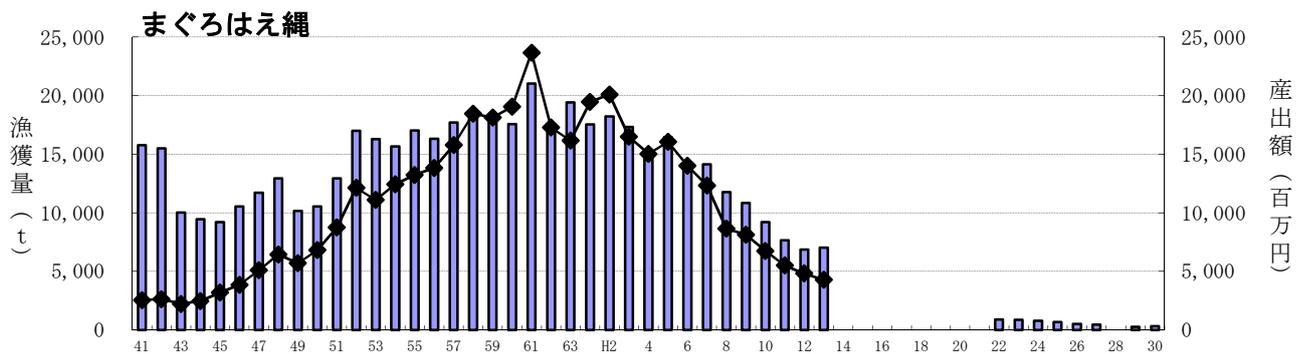
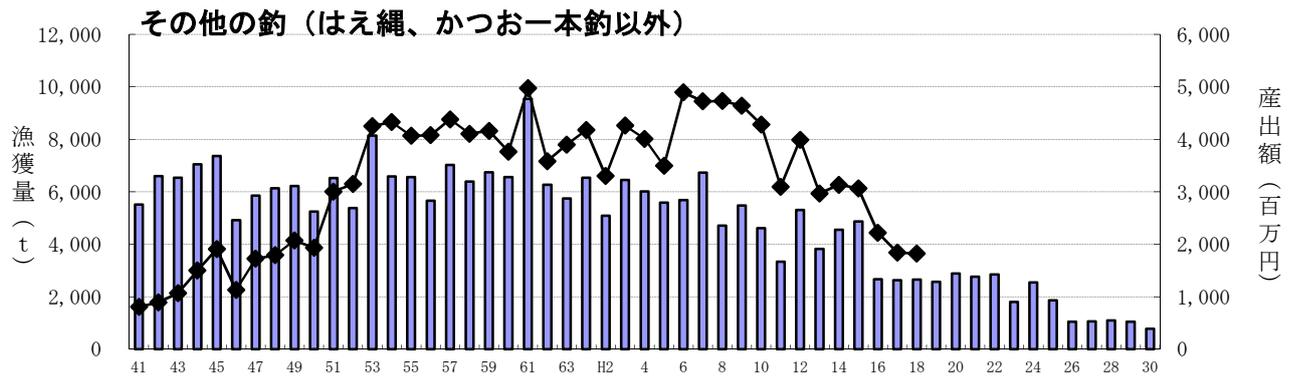
※その他の水産動物類は、なまこ類を含む。

※海藻類は、ひじき、わかめ類、てんぐさ類を含む。

ア 主な漁業種類別漁獲量・産出額の推移



※「まき網」の平成14年の数値、「敷網」の平成15年から平成22年、平成26年から平成30年の数値は秘密保護のため非公表
 ※平成19年より漁業種類別産出額についての調査は行われていない
 ※平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないこととなったため、平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない



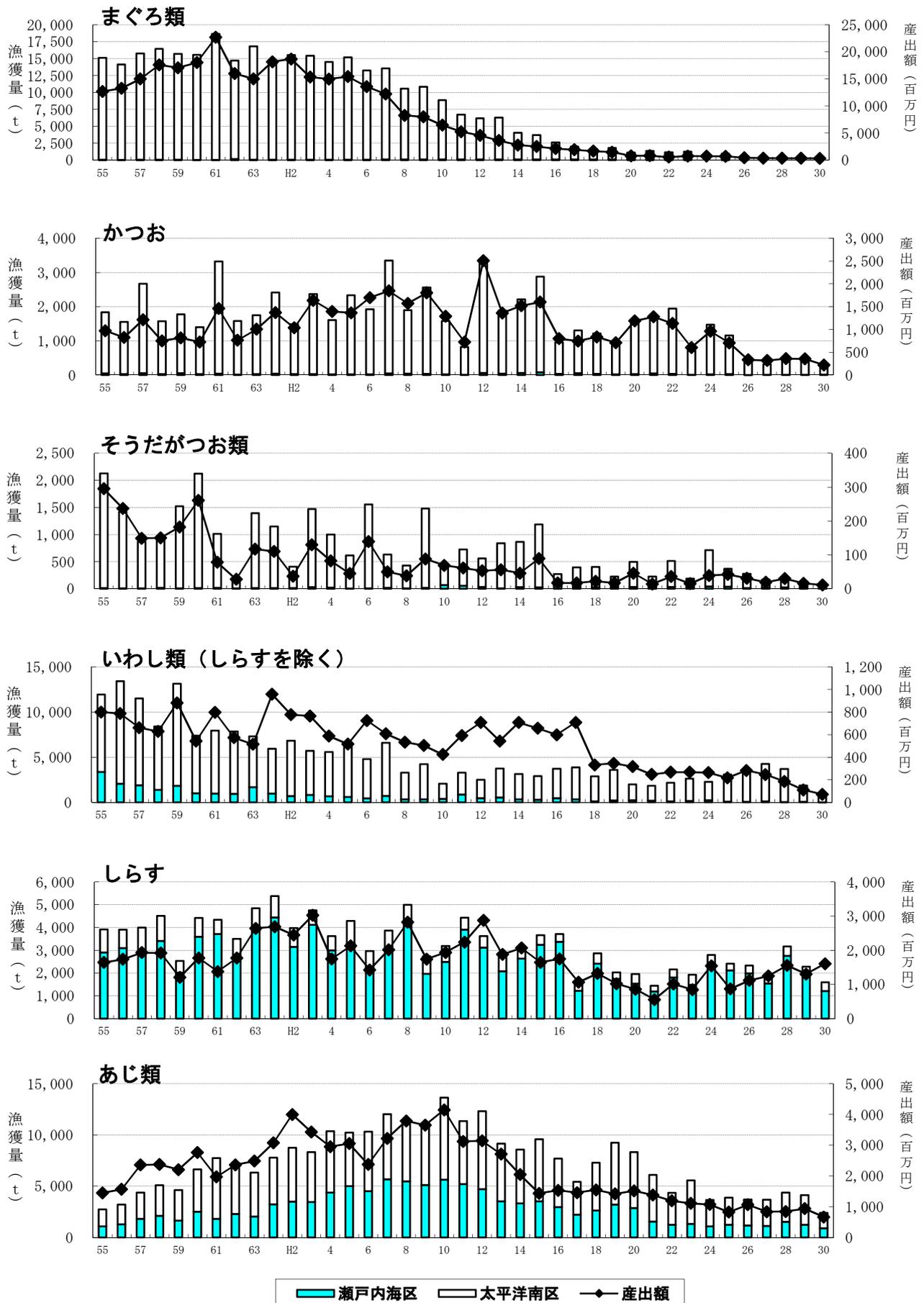
■ 漁獲量 ◆ 産出額

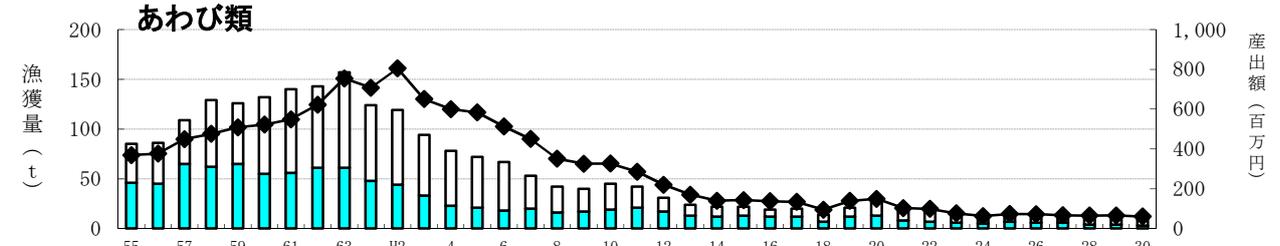
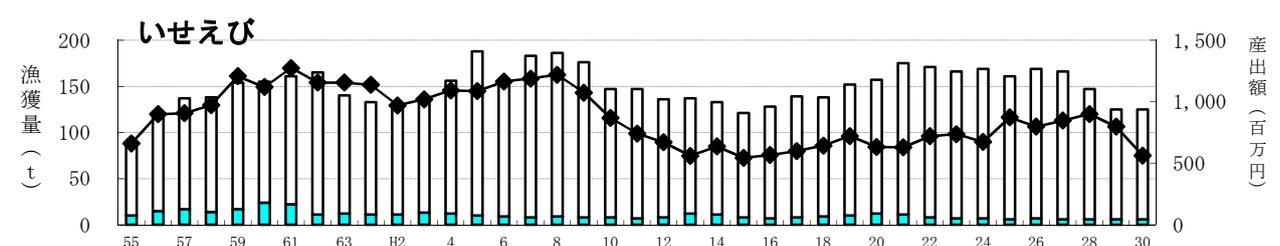
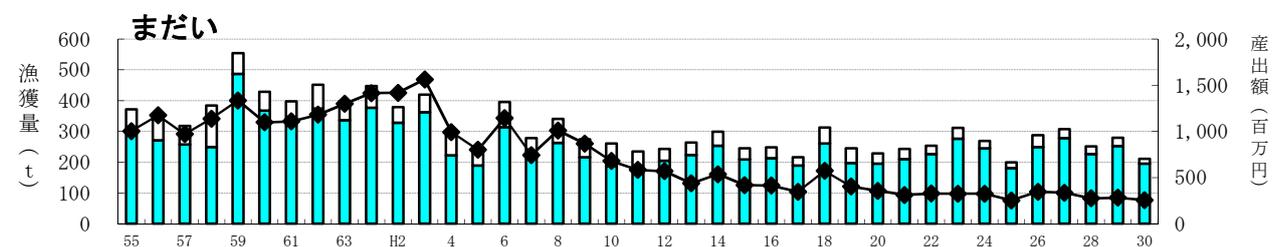
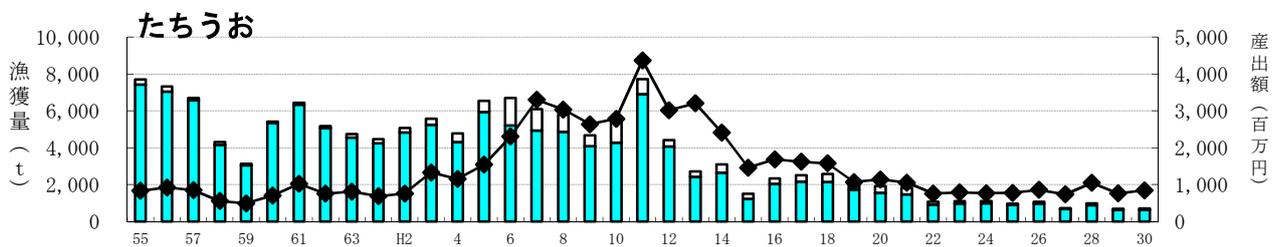
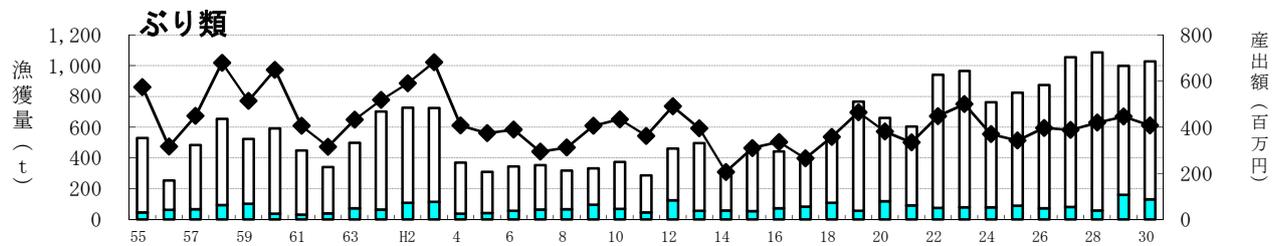
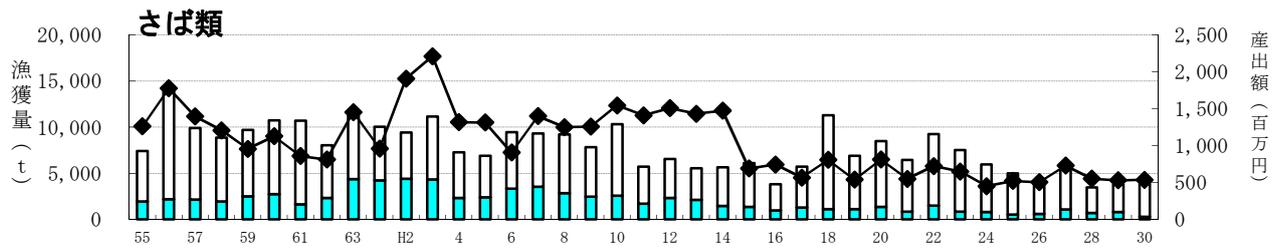
※「まぐろはえ縄」の平成14年から平成21年、平成28年の数値、「大型定置網」の平成14年の数値は秘密保護のため非公表

※「船びき網」は平成14年以降「ひき寄せ船びき網」については非公表のため、「ひき回し船びき網」のみの数値

※平成19年より漁業種別産出額についての調査は行われていない

イ 主な魚種別漁獲量・産出額の推移



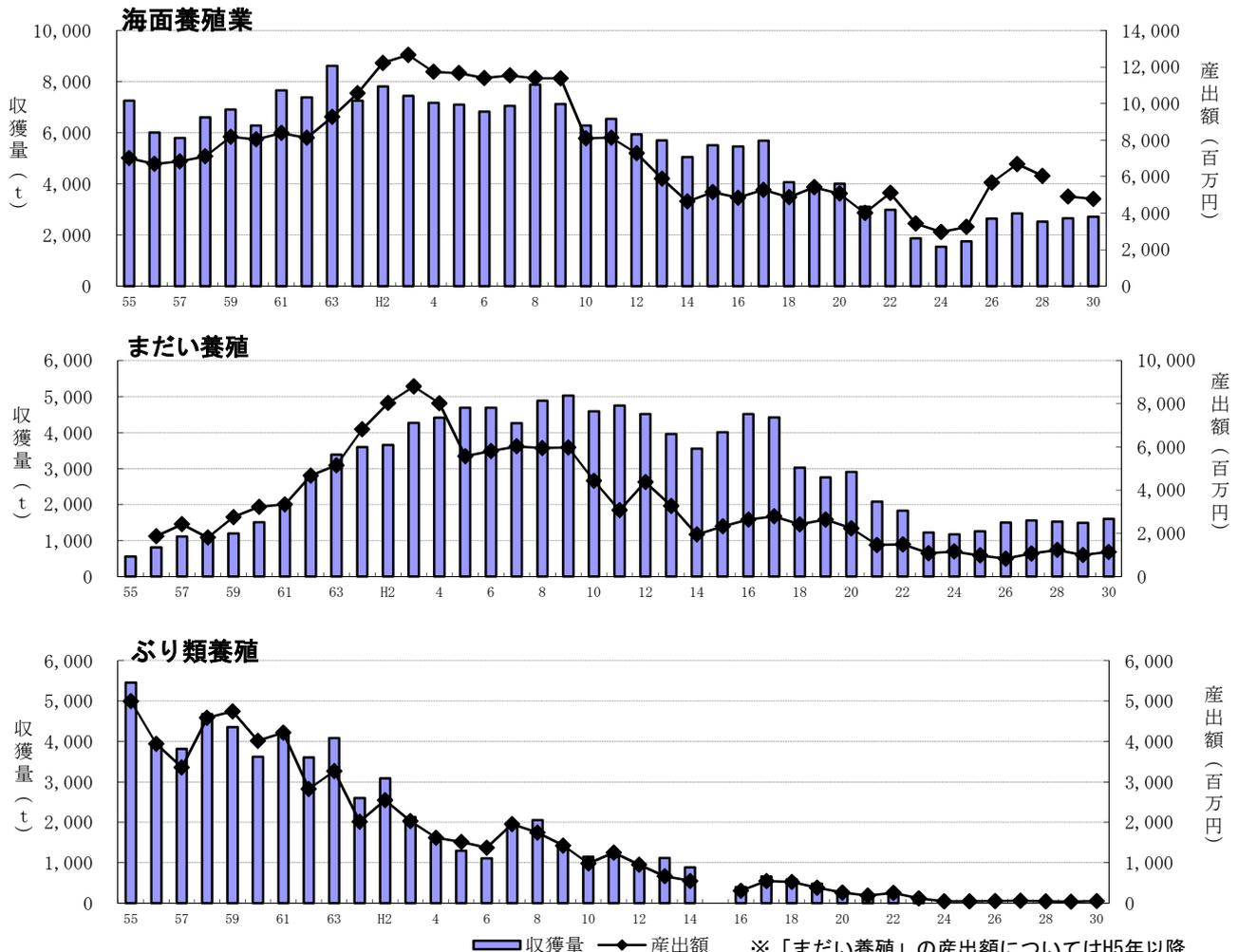


(4) 海面養殖業収穫量

(経営体数：実数、収穫量：t)

年次区分 魚種	21		22		23		24		25		26		27		28		29		30	
	経営体	収穫量																		
ぶり類	...	223	...	248	...	108	...	42	3	44	...	51	...	59	...	43	...	41	4	51
しまあじ	...	23	...	32	...	37	...	32	...	38	...	41	...	36	...	42	...	69	...	67
まだい	...	2,079	...	1,827	...	1,221	...	1,175	12	1,257	...	1,496	...	1,561	...	1,527	...	1,492	13	1,599
くろまぐろ	89	5	203	...	867	...	1,045	...	796	...	945	6	869
その他の魚類	...	628	...	709	...	356	...	45	5	50	...	48	...	49	...	40	...	36	5	41
貝類	...	χ	...	50	...	43	...	44	9	30	...	22	...	13	...	10	...	7	6	χ
くるまえび	...	χ	...	χ	...	χ	...	χ	1	χ	...	χ	...	χ	...	χ	...	χ	1	χ
のり類	...	-	...	-	...	χ	...	-	-	χ	...	-	...	-	...	-	...	-	-	-
わかめ類	...	87	...	χ	...	χ	...	χ	26	χ	...	χ	...	χ	...	χ	...	χ	22	χ
真珠	...	χ	...	-	...	-	...	-	-	-	...	-	...	-	...	-	...	-	-	-
合計		3,106		2,986		1,871		1,549		1,753		2,644		2,845		2,522		2,661		2,721

注：海面養殖業経営体数については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている。
 ※「営んだ漁業種類別経営体数」の数値を掲載



※「まだい養殖」の産出額についてはH5年以降、種苗養殖を除いた数値である
 ※「ぶり類養殖」のH15年の数値は秘密保護のため非公表
 ※平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないこととなったため、平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない

(5) 内水面漁業・養殖業生産量 (平成30年)

内水面漁業・養殖業生産量は、前年に比べ244トン(23%)減少して808トンとなった。

内水面漁業漁獲量は、2トン(29%)増加して9トンとなった。

内水面養殖業収獲量は、246トン(24%)減少して799トンで、全国10位となっている。

内訳は養殖アユが246トン(24%)減少し、788トンとなっている。

ア 内水面漁業漁獲量

(単位：t)

年次・水系	漁獲量								
	計	あゆ	こい	ふな	うなぎ	その他魚類	貝類	その他の水産動植物類	藻類
全国 H30	26,957	2,140	210	456	69	10,388	13,106	588	...
和歌山 H21	8	6	-	-	0	0	-	1	...
22	6	5	-	-	0	0	-	1	...
23	6	5	-	-	0	0	-	1	...
24	6	4	-	-	0	0	-	1	...
25	5	4	-	-	0	0	-	1	...
26	6	5	-	-	0	0	-	1	...
27	7	5	-	-	0	0	-	1	...
28	4	4	-	-	0	0	-	0	...
29	7	6	-	-	0	0	-	1	...
30	9	7	-	-	0	0	-	2	...
紀の川	2	2	-	-	0	0	-	-	...
有田川	×	×	×	×	×	×	×	×	...
日高川	×	×	×	×	×	×	×	×	...
熊野川	×	×	×	×	×	×	×	×	...

注1: 主要4河川の漁獲量である。

注2: 平成18年調査より、内水面漁業の調査範囲を、主要4河川において、販売を目的として漁獲された量のみとした。遊漁者(レクリエーションを主な目的として水産動植物を採捕するもの)による採捕量は含まれない。

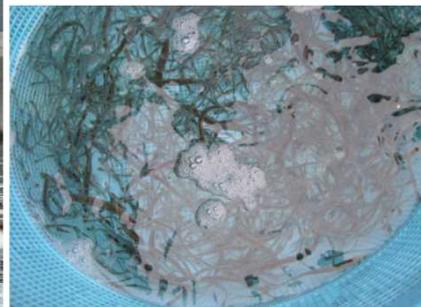
イ 内水面養殖業収獲量

(経営体数：実数、収獲量：t)

年次区分 魚種	21		22		23		24		25		26		27		28		29		30	
	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量
あゆ	...	1,074	...	1,131	...	1,056	...	948	10	966	...	992	...	984	...	1,039	...	1,034	9	788
ます類	...	×	...	×	...	×	...	×	4	×	...	×	...	×	...	×	...	×	5	×
うなぎ	...	×	...	×	...	×	...	×	1	×	...	×	...	×	...	×	...	×	2	×
その他の養殖	2	...
合計		1,092		1,148		1,068		958		976		1,004		991		1,054		1,045		799

注：内水面養殖業経営体については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている。

※「営んだ養殖種類別経営体数」の数値を掲載



海産稚あゆの受け渡し(日高町)

(6) 漁業産出額

魚種別産出額

区 分	合計	海面漁業計	魚 類					
			計	ま ぐ ろ 類				
				計	くろまぐろ	みなみまぐろ	びんなが	めばち
全国 H 30	14,238 [※]	9,377	6,521	1,237	191	90	176	377
和歌山 H 21	14,053	10,044	8,196	815	103	-	333	136
22	14,871	9,768	8,135	560	80	-	245	69
23	12,919	9,492	7,633	752	105	-	241	χ
24	12,731	9,760	8,117	726	125	-	243	116
25	11,915	8,674	6,759	722	286	-	160	64
26	15,022	9,352	7,021	438	76	-	150	75
27	16,032	9,351	6,999	372	59	-	146	30
28	15,452	9,416	7,381	359	92	-	107	χ
29	13,380 [※]	8,462	6,445	362	119	-	102	30
和歌山 H 30	12,688 [※]	7,909	6,226	326	42	-	134	43
瀬戸内海区	4,079	4,031	3,620	χ	χ	-	45	χ
太平洋南区	8,609	3,878	2,606	χ	χ	-	89	χ

区 分	魚 類							
	さめ類	このしろ	い わ し 類					あじ類
			計	まいわし	うるめいわし	かたくちいわし	しらす	
全国 H 30	49	7	760	236	36	112	376	279
和歌山 H 21	16	0	805	95	135	17	558	1,377
22	15	0	1,282	151	105	11	1,014	1,192
23	20	0	1,113	160	93	13	846	1,109
24	15	0	1,807	146	100	18	1,544	1,070
25	16	0	1,086	77	126	14	869	823
26	16	0	1,399	133	137	13	1,116	1,062
27	23	0	1,493	102	123	20	1,247	834
28	13	χ	1,740	80	92	13	1,555	843
29	7	χ	1,412	28	71	11	1,302	935
和歌山 H 30	5	χ	1,676	21	45	5	1,605	665
瀬戸内海区	5	χ	1,204	1	-	4	1,200	293
太平洋南区	0	χ	472	21	45	1	406	372



まぐろ



しらす

単位 { 全国： 億円
和歌山： 100万円

魚 類											区分
まぐろ類		かじき類					かつお類				
きはだ	その他のまぐろ類	計	まかじき	めかじき	くろかじき類	その他のかじき類	計	かつお	そうだがつお類		
397	5	96	12	69	12	3	608	593	15	全国	2018
242	0	60	18	17	24	1	1,290	1,276	14		2009
175	1	38	15	7	16	1	1,165	1,130	35		2010
286	χ	37	15	10	12	0	619	604	15		2011
242	0	34	19	8	7	0	999	960	39		2012
212	0	34	16	7	11	0	746	704	42		2013
137	-	35	15	χ	χ	0	365	334	31		2014
137	-	14	6	χ	χ	0	338	319	19		2015
χ	-	χ	11	χ	χ	0	391	360	30		2016
111	-	20	12	χ	χ	0	371	354	16		2017
107	-	13	7	χ	χ	0	231	220	11		2018
15	-	χ	χ	χ	χ	χ	12	7	4	瀬戸内海区	
92	-	χ	χ	χ	2	χ	220	213	7	太平洋南区	

魚 類											区分
あじ類		さば類	さんま	ぶり類	ひらめ	かれい類	にぎす類	あなご類	たちうお		
まあじ	むろあじ類										
255	24	501	251	296	73	158	6	37	42	全国	2018
841	535	549	21	334	73	128	10	15	1,055		2009
695	497	722	18	448	61	133	10	11	756		2010
500	609	647	29	500	76	105	4	8	788		2011
594	477	449	26	370	57	101	7	6	769		2012
449	374	521	16	342	53	114	-	5	776		2013
634	428	502	24	397	69	94	-	7	859		2014
435	399	727	8	388	50	86	-	4	738		2015
364	479	551	χ	420	56	78	-	χ	1,049		2016
704	231	529	2	446	56	43	-	χ	764		2017
471	194	536	χ	407	71	21	-	χ	847		2018
195	97	105	-	62	33	21	-	χ	810	瀬戸内海区	
275	97	431	χ	345	38	0	-	-	37	太平洋南区	

※ 平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないことになったため、全国及び和歌山県の漁業産出額合計について平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない。



かつお



たちうお

魚種別産出額（つづき）

区 分	魚 類									
	計	た い 類				いさき	さわら類	すずき類	いかなご	あまだい類
		まだい	ちだい・きだい	くろだい・へだい						
全国 H 30	156	120	23	13	27	103	37	55	24	
和歌山 H 21	374	311	43	20	167	120	13	-	11	
22	386	326	41	18	172	103	15	17	14	
23	396	324	49	24	172	95	16	182	8	
24	404	325	59	21	149	153	15	8	10	
25	320	251	54	15	154	149	11	-	12	
26	431	345	57	29	154	213	14	0	11	
27	428	334	77	18	160	302	10	0	19	
28	349	275	57	17	167	291	8	-	16	
29	359	282	60	17	140	131	10	-	16	
和歌山 H 30	339	255	58	25	114	157	9	0	19	
瀬戸内海区	319	241	56	22	61	52	6	0	13	
太平洋南区	20	15	2	3	53	105	3	-	6	

区 分	貝 類				い か 類			たご類	うに類
	あわび類	さざえ	あさり類	その他の貝類	計	するめいか	その他のいか類*4		
全国 H 30	79	38	39	708	553	277	276	268	128
和歌山 H 21	103	18	0	119	426	67	360	71	6
22	99	14	0	106	328	52	276	50	12
23	76	13	0	128	391	59	332	55	12
24	63	15	0	66	331	59	273	44	10
25	73	24	-	90	313	55	257	59	7
26	72	15	-	109	240	48	192	52	7
27	67	14	-	84	263	24	239	43	9
28	65	18	-	113	288	27	261	37	9
29	66	13	-	98	275	30	245	39	13
和歌山 H 30	60	13	-	74	194	38	156	46	19
瀬戸内海区	25	4	-	4	131	0	131	39	3
太平洋南区	35	9	-	70	63	38	25	6	16



まだい



いさき

単位 { 全国：億円
和歌山：100万円

魚 類		え び 類				か に 類			貝類	区分
ふぐ類	その他の魚類 ^{※3}	計	いせえび	くるま えび	その他の えび類	計	がざみ類	その他 かに類	計	
28	756	223	54	18	152	329	24	305	864	全国 2018
62	899	782	629	5	148	8	1	7	241	2009
61	957	908	719	4	185	7	1	6	220	2010
66	891	891	737	4	150	7	1	6	216	2011
61	881	884	673	4	206	9	2	7	144	2012
49	809	1,073	872	7	195	7	2	6	186	2013
50	882	999	797	3	200	5	1	4	196	2014
58	946	986	847	2	137	7	3	4	164	2015
48	978	1,024	900	2	122	6	3	3	195	2016
46	794	910	797	1	113	6	3	3	177	2017
39	748	651	562	1	88	5	2	3	147	2018
19	514	105	28	1	75	2	1	1	34	瀬戸内海区
20	234	547	534	0	12	4	1	3	114	太平洋南区

海産 ほ乳類	その他の 水産動物 ^{※5}	海藻類 ^{※6}	海 面 養 殖							(参考)種苗	区分
			計	ぶり類	しまあじ	まだい	くろまぐろ	その他 海面養殖			
3 ^{※7}	221	251	4,861 ^{※1}	1,240	66	592	466	2,497	199 ^{※2}	全国 2018	
129	21	164	4,009	184	38	1,455	...	2,332	...	2009	
22	19	67	5,102	251	52	1,489	...	3,310	...	2010	
46	27	213	3,427	115	60	1,078	...	2,174	...	2011	
82	20	118	2,971	40	54	1,158	326	1,393	...	2012	
62	18	189	3,241	42	66	975	767	1,391	...	2013	
75	548	208	5,670	49	71	831	3,277	1,442	...	2014	
χ	χ	148	6,681	60	60	1,070	3,951	1,540	...	2015	
69	216	190	6,036	42	73	1,228	3,010	1,683	...	2016	
64	204	330	4,918 ^{※1}	39	120	992	3,571	196	1,917 ^{※2}	2017	
35	323	262	4,779^{※1}	49	115	1,133	3,286	196	1,530^{※2}	2018	
-	22	75	48	χ	χ	χ	-	χ	χ	瀬戸内海区	
35	301	187	4,731	χ	χ	χ	3,286	χ	1,530	太平洋南区	



いせえび

※1 平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないことになったため、全国及び和歌山県の海面養殖業産出額について平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない。

※2 種苗の産出額については参考値として掲載した。(漁業産出額の合計には計上していない。また、平成28年以前はその他の海面養殖に計上している)

※3 その他の魚類には、めめけ類、にべぐち類、えそ類、いぼだい、はも、えい類、しいら類、とびうお類、ぼら類を含む。

※4 その他のいか類は、こういか類を含む。

※5 その他の水産動物は、なまこ類を含む。

※6 海藻類は、ひじき、わかめ類、てんぐさを含む。

※7 全国の海産ほ乳類は、捕鯨業を含む。

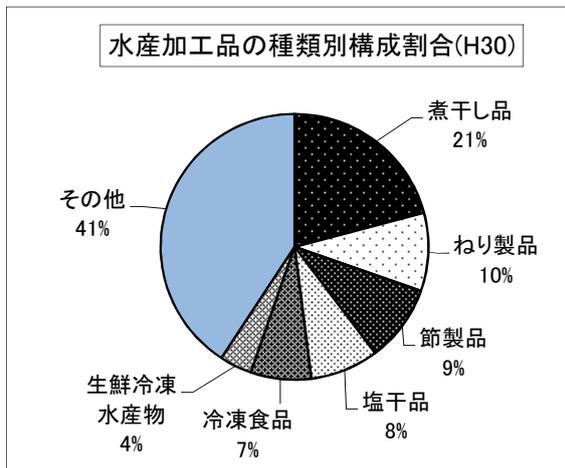
※8 全国のその他魚類は、たら類、ほっけ、きちじ、はたはたを含む。

4 水産加工

水産加工品の生産量(くん製品、焼・味付のりを除く)は18,662トンであった。

加工種類別の構成割合をみると、煮干し品3,892トン、ねり製品1,779トン、節製品1,743トン、塩干品1,544トンの順に多く、この4種類で生産量全体の約5割を占めている。

なお、煮干し品のうち「しらす干し」の生産量は3,878トンで、全国順位4位(全国シェア13%)である。



アカモクの加工(紀州日高漁協)

(1) 水産加工品目別経営体数

年次	H10	11	12	13	14	15	16	17	20	25	30
実経営体数	218	213	208	204	201	197	188	184	175	157	138
ねり製品 (かまぼこ類)	42	39	38	34	33	35	34	33	30	23	19
生鮮冷凍水産物	17	16	12	12	18	25	17	16	16	4	3
冷凍食品	4	3	3	3	4	10	6	6	5	4	3
素干し品	12	14	13	13	13	31	17	18	13	2	3
塩干品	75	74	70	69	68	82	72	70	61	38	29
煮干し品	77	76	75	73	71	68	63	63	50	42	40
塩蔵品	4	3	4	3	4	18	4	4	5	1	-
節製品	45	45	42	44	43	33	30	29	28	17	14
その他の 水産加工品	38 +χ	43 +χ	40 +χ	43	41	40	49	54	47	22	23
焼・味付けのり	5	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4

加工種類別経営体数はのべ経営体数

※平成18年より水産加工品目別経営体数については、調査対象から除外された。

※平成20年以降は、「漁業センサス」流通加工業における主とする加工種類別工場数より

(2) 水産加工品目別生産量

単位：t

年次	※1 合計	ねり製品 計	生 鮮 冷 凍 水 産 物					
			計	まぐろ類	かつお類	いわし類	ま あ じ 類	さ ば 類
全 国 H30	2,989,359	509,569	1,397,204	24,789	17,884	345,009	48,534	458,239
和歌山 21	16,649	×	3,214	603	836	204	37	535
22	18,547	2,462	2,405	×	×	×	52	606
23	18,187	2,364	2,429	481	×	×	338	386
24	17,081	1,565	3,849	1,809	×	×	84	417
25	15,230	1,803	1,357	643	×	×	24	×
26	15,424	1,803	1,146	671	×	×	7	124
27	15,583	1,760	1,624	1,083	×	×	3	117
28	15,892	1,726	1,365	691	×	9	9	113
29	15,368	1,734	1,800	930	×	7	×	126
30	18,662	1,779	724	158	—	×	×	×

年次	生 鮮 冷 凍 水 産 物 (つづき)				冷 凍 食 品			素 干 し 品
	さ ん ま い か 類	い か 類	その他の魚類・ 水産動物類	す り 身	計	魚 介 類	そ の 他	計
全 国 H30	78,245	23,658	360,466	40,380	261,907	144,075	117,832	7,069
和歌山 21	5	195	799	—	3,090	1,533	1,557	81
22	×	×	×	—	2,019	×	×	53
23	10	×	×	—	1,235	446	789	59
24	20	273	×	—	977	459	518	46
25	×	184	187	—	1,088	766	322	53
26	8	198	98	—	1,147	818	329	69
27	—	187	225	×	989	614	375	52
28	×	191	×	—	1,037	663	374	33
29	×	182	×	—	×	×	430	30
30	×	×	×	—	1,369	820	549	28

年次	素 干 し 品			塩 干 品				
	す る め い か	い わ し	そ の 他	計	い わ し	あ じ	さ ん ま	さ ば
全 国 H30	2,245	665	4,159	139,569	10,267	27,276	11,385	20,404
和歌山 21	60	2	19	3,107	345	940	1,222	33
22	47	×	×	2,942	368	897	1,128	×
23	59	×	×	2,492	471	479	1,032	56
24	×	×	×	1,996	175	536	943	×
25	48	×	×	2,168	233	518	1,045	52
26	64	×	×	2,110	196	542	1,024	51
27	47	×	×	2,085	189	573	992	66
28	29	×	×	1,928	155	514	948	63
29	27	×	×	1,816	127	503	894	65
30	26	×	×	1,544	114	406	791	62



塩干品・煮干し品

※1は「焼・味付のり」を除く。

全国値については、食用加工品と生鮮冷凍水産物の生産量の合計である。

和歌山県の数値については、平成21年、平成25年から平成30年のくん製品、平成21年のねり製品、平成25年の塩蔵品、平成29年の冷凍食品を除く。

※2 平成30年数値より、「その他の食用加工品」の品目は、いか塩辛、水産物漬物、こんぶつくだ煮、乾燥・焙焼・揚げ加工品（いか製品）、その他となった。

単位：t

年次	塩干品(つづき)		煮 干 し 品				塩 蔵 品	
	そ の 他	計	い わ し	しらす干し	いかなご・ こうなご	そ の 他	計	い わ し
全 国 H30	70,237	59,174	22,059	29,908	937	6,270	181,630	992
和歌山 21	567	3,752	8	3,744	—	—	423	—
22	×	4,465	×	4,379	×	—	436	—
23	454	4,182	×	3,670	×	—	360	—
24	×	3,627	×	3,352	×	—	402	—
25	320	3,613	5	3,595	5	9	×	×
26	297	3,599	8	3,579	4	8	423	×
27	265	3,556	7	3,541	2	6	371	—
28	248	3,917	8	3,902	1	6	332	—
29	227	4,042	7	4,027	1	7	305	—
30	×	3,892	×	3,878	4	×	283	×

年次	塩 蔵 品 (つづき)			節 製 品				
	さ ば	さんま	そ の 他	計	かつお節	かつお なまり節	さ ば 節	そ の 他 の 類
全 国 H30	38,608	5,685	136,345	79,609	28,712	1,323	12,263	9,868
和歌山 21	23	—	400	2,161	15	93	173	1,880
22	×	×	×	2,946	×	×	2,135	696
23	×	×	×	2,578	×	×	1,708	798
24	×	—	×	2,223	×	×	1,334	859
25	×	—	×	2,211	44	43	1,390	661
26	×	—	×	2,212	36	40	1,390	671
27	×	—	×	1,964	35	28	1,251	587
28	×	—	×	1,785	34	22	1,153	513
29	×	—	×	1,359	×	21	850	×
30	×	—	12	1,743	37	38	980	622

年次	節製品(つづき)		そ の 他 の 食 用 加 工 品※2		くん 製 品	焼・味付のり (千 枚)
	け ず り 節	計	水 産 物 つ ぐ だ 煮	そ の 他		
全 国 H30	27,444	346,785	×	×	6,843	6,460,741
和歌山 21	—	821	60	761	×	21,846
22	—	805	55	750	14	22,033
23	—	2,458	52	2,406	30	21,347
24	—	2,367	54	2,313	29	20,830
25	73	2,937	43	2,894	×	18,563
26	75	2,915	45	2,870	×	17,124
27	63	3,182	58	3,124	×	15,488
28	63	3,769	50	3,719	×	15,531
29	59	4,282	54	4,228	×	15,964
30	66	7,300	×	7,289	×	16,450



しらす干し

II 漁業振興施策

漁業振興施策

漁業経営の安定・合理化、漁村環境の整備を推進するため、令和元年度に実施した主要な事業は下記のとおりである。

(1) 磯根漁場再生事業

アワビ、ヒジキ等の磯根漁業の回復を図るため、藻場造成等を9市町において合計事業費1,491万円で実施した。

(2) 漁業経営構造改善事業

冷凍冷蔵施設整備事業を1町において47,723万円（うち47,253万円次年度繰越）で、荷さばき施設整備事業を1市において103,575万円（次年度繰越）で、つきいそ整備事業を2町において3,530万円で実施した。

(3) 水産基盤整備事業（漁場整備）

水産資源の維持増大、操業の効率化を図るため、表層型浮魚礁設置事業を1地区において26,312万円（うち24,624万円次年度繰越）で、沿岸漁場の生産力回復を図る堆積物除去事業を1地区(2市)において946万円で、増殖場整備事業を1地区（1市）において3,083万円で実施した。

(4) 水産基盤整備事業等（漁港整備）

漁港の機能強化、漁村の環境整備を推進するため、漁港整備関係事業を合計事業費29億2,287万円で実施した。

(5) 栽培漁業推進事業等

主要水産資源の増殖を図るため、ヒラメ25.1万尾、イサキ19.7万尾、クエ5.6万尾、カサゴ8.3万尾、アワビ類38.9万個を沿岸各地に種苗放流した。

(6) 内水面漁業振興対策事業

内水面漁業の振興を図るため、アユ48.0トン、アマゴ62.4万尾の種苗放流を実施するとともに、主要資源であるアユの自然増殖を促進する産卵場造成事業を実施した。

(7) 金融対策事業

漁業者の設備投資や経営改善を円滑に推進するため、漁業近代化資金について23件、融資額3億1,733万円に対する利子補給を承認した。

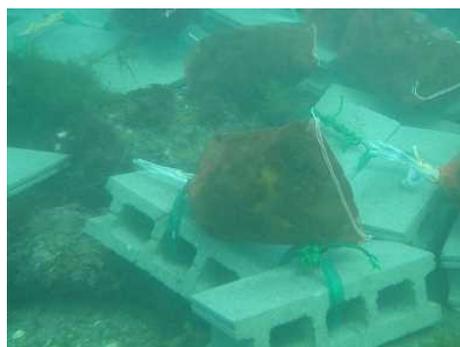
(1) 磯根漁場再生事業

令和元年度磯根漁場再生事業

事業主体	事業内容	事業実施主体	工種	事業費 (千円)
和歌山市	アサリ資源の回復	和歌山市	食害防止ネット設置	3,000
日高町	ナマコ資源の回復	比井崎漁協	着定基質設置	299
印南町	ヒジキ・ワカメ場の造成	紀州日高漁協	母藻移植	633
みなべ町	ヒジキ場の造成	紀州日高漁協	食害生物駆除	594
田辺市	ヒロメ場の造成	新庄漁協	母藻移植	570
白浜町	クロメ・ヒロメ場の造成	白浜町	母藻移植	1,078
串本町	テングサ場の造成	串本町	母藻移植等	3,100
	テングサ場の造成	和歌山東漁協	母藻移植	2,209
	ヒジキ場の造成	和歌山東漁協	磯掃除	900
那智勝浦町	カジメ場の造成	那智勝浦町 水産振興会	海藻種苗設置	1,500
太地町	ヒジキ場の造成	太地町漁協	母藻移植等	277
	カジメ場の造成	太地町漁協	母藻移植	750
合計				14,909



アサリ資源の回復(食害防止ネット設置)



カジメ場の造成(母藻移植)



ヒジキ場の造成(磯掃除)



カジメ場の造成(移植後の生育調査)

(2) 漁業経営構造改善事業

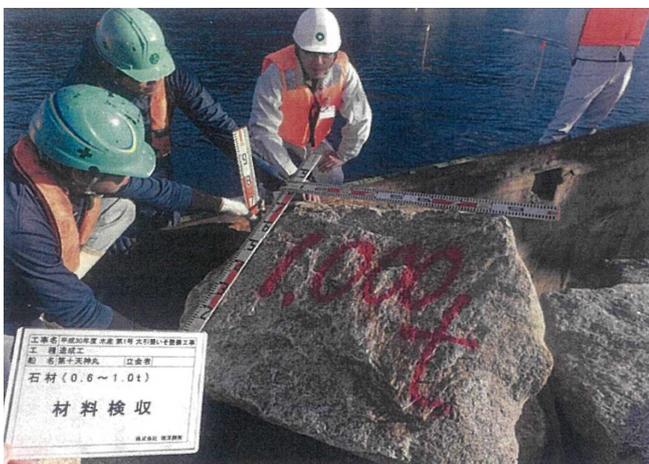
令和元年度水産業強化支援事業等

事業名	事業主体	事業内容	事業費 (千円)
水産業強化支援事業	串本町	つきいそ(投石) 2,900m ³	16,300
	那智勝浦町	つきいそ(投石) 2,900m ³	19,001
	太地町	冷凍冷蔵施設整備	477,229 (472,530) 次年度繰越
水産業競争力強化緊急施設整備事業	有田箕島 漁業協同組合	荷さばき施設整備(本体工事)	1,035,748 (次年度繰越)
合計			1,548,278

(3) 水産基盤整備事業(漁場整備)

令和元年度水産環境整備事業等

事業名	工種	地区名	事業主体	事業内容	事業費 (千円)
水産環境整備事業	表層型浮魚礁製作 中層型浮魚礁撤去	和歌山南部	県	表層型浮魚礁設置1基 中層型浮魚礁撤去3基	263,120 (一部次年度繰越)
水産物供給基盤整備事業	増殖場整備	和歌山	和歌山市	着底基質製作沈設20基	30,831
水域環境保全 創造事業	堆積物除去	和歌山北部	和歌山市	掃海 4.7km ²	4,675
			有田市	掃海 5.2km ²	4,794
合計					303,420



つきいそ(投石)



掃海(底曳網漁船による漁場堆積物除去)

漁場整備事業実施状況

区 分	事 業 名	件数	事業費(千円)	備 考
第1次沿整 (S51~56)	並型魚礁設置事業	29	180,600	
	大型魚礁設置事業	4	118,090	
	人工礁漁場造成事業	1	460,600	
	幼稚仔保育場造成事業	2	130,000	
	大規模増殖場開発事業	1	400,000	
	漁場造成事業	1	328,740	
	浅海漁場開発事業	1	860,000	沿構から継続
	計	39	2,478,030	
第2次沿整 (S57~62)	並型魚礁設置事業	22	164,190	
	大型魚礁設置事業	4	129,219	
	人工礁漁場造成事業	2	621,450	
	幼稚仔保育場造成事業	1	34,190	第1次沿整から継続1件
	小規模増殖場造成事業	4	613,930	
	大規模増殖場造成事業	1	337,000	
	海域礁設置事業	3	1,257,820	
	磯根漁場造成事業	4	848,300	
計	41	4,006,099		
第3次沿整 (S63~H5)	並型魚礁設置事業	32	322,892	
	大型魚礁設置事業	8	432,870	
	人工礁漁場造成事業	3	781,600	第2次沿整から継続1件
	地先型増殖場造成事業	9	1,191,600	
	広域型増殖場造成事業	2	246,200	
	小規模増殖場造成事業	1	39,210	第2次沿整から継続1件
	大規模増殖場造成事業	1	153,058	第2次沿整から継続1件
	海域礁設置事業	2	808,000	第2次沿整から継続2件
	磯根漁場造成事業	3	472,780	第2次沿整から継続3件
	小規模漁場保全事業	1	10,000	
	計	62	4,458,210	
第4次沿整 (H6~13)	並型魚礁設置事業	20	382,880	
	大型魚礁設置事業	10	525,652	
	人工礁漁場造成事業	5	1,999,491	第3次沿整から継続2件
	地先型増殖場造成事業	12	792,790	第3次沿整から継続2件
	広域型増殖場造成事業	1	65,050	
	小規模漁場保全事業	8	80,000	
	大規模漁場保全事業	1	305,000	
	計	57	4,150,863	

区 分	事 業 名	件数	事業費(千円)	備 考
水産基盤整備 (H14~R1)	広域漁場整備事業	2	447,589	第4次沿整から継続1件
	漁港漁場機能高度化事業	4	222,966	
	漁港漁場機能高度化統合補助事業	3	113,300	第4次沿整から継続1件
	水域環境保全創造事業	14	335,482	
	漁村再生交付金	8	398,267	
	地域水産物供給基盤整備事業	12	536,738	
	水産環境整備事業	6	1,364,335	
	計	49	3,418,677	

(4) 水産基盤整備事業等（漁港整備）

令和元年度漁港関係整備事業

事業名	港数	事業費（千円）	
漁港整備事業	水産流通基盤整備事業	2	947,100
	水産物供給基盤機能保全事業	13	463,924
	水産生産基盤整備事業	6	861,500
	漁港施設機能強化事業	2	108,400
	漁港機能増進事業	2	120,000
	漁村再生交付金	1	40,160
	計	26	2,541,084
漁業集落環境整備事業	2	16,280	
海岸整備事業	海岸保全施設整備事業	4	111,933
	津波・高潮危機管理対策事業	2	7,560
	海岸環境整備事業	1	175,320
	計	7	294,813
漁港維持修繕事業	6	70,700	
合計	39	2,922,877	

漁港関係整備事業の概要

事業名	事業の内容	整備できる施設
水産流通基盤整備事業	漁港施設の新設、改良、補修等を行う事業のうち、計画規模が大きい整備	防波堤、護岸、航路、泊地、物揚場、船揚場、道路、用地等
水産物供給基盤機能保全事業	漁港施設の既存ストックの老朽化対策を行う整備	同上
水産生産基盤整備事業	漁港施設の新設、改良、補修等を行う事業のうち、大きな規模の漁港で行う整備	同上
漁港施設機能強化事業	漁港の既存施設の耐震診断・改良を行う整備	防波堤、護岸、物揚場、岸壁、道路、用地等
漁港機能増進事業	漁港のストック効果の最大化を図りつつ、就労環境の改善、安全性の向上及び漁港施設の有効活用等に資する施設の整備を行う事業	省力化・軽労化・就労環境改善施設（岸壁の屋根等）、有効活用促進施設（港内の増養殖施設等）、安全対策向上施設（防潮堤、はしごの設置等）
漁業集落環境整備事業	漁港の背後集落の生活環境の改善を図る事業	漁業集落道、上下水道、緑地、広場、防災安全施設等
海岸保全施設整備事業	高潮・波浪・津波等による被害から、又は、海岸侵食から守るため、漁港内の海岸保全施設の新設・改良を行う事業	堤防、護岸、離岸堤等
津波・高潮危機管理対策事業	既存の海岸保全施設の緊急的な防災機能の確保及び避難対策を促進することにより、津波・高潮時における人命の優先的な防護を推進する事業	堤防、護岸、避難誘導灯等
海岸環境整備事業	海岸保全施設の整備に併せて、豊かで潤いのある海岸環境の整備を行う事業	緩傾斜護岸、養浜、緑地、広場等
漁港維持修繕事業	漁港施設の小規模な維持修繕を行う事業	防波堤、護岸、航路、泊地、物揚場、船揚場、道路、用地等

(5) 栽培漁業推進事業等

放流実績

(単位：千尾・千個)

年度 魚種	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
マダイ	264	257	257	273	271	266	272	265	225	-
ヒラメ	254	275	301	244	272	332	328	208	389	251
イサキ	263	552	473	529	528	466	600	593	279	197
アワビ類	220	215	258	226	367	388	474	504	246	389
オニオコゼ	45	32	79	123	49	98	-	-	-	-
クエ	8	17	52	28	33	51	66	55	23	56
カサゴ	-	-	-	-	-	-	-	77	43	83



魚類の種苗生産（仔魚へのワムシ給餌）



クロアワビの種苗生産



放流前ヒラメ稚魚の測定



ヒラメの稚魚放流

(6) 内水面漁業振興対策事業

ア 種苗放流事業実施状況

魚種	年度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
アユ(kg)		44,837	48,806	44,649	43,476	42,332	39,372	35,483	45,187	47,970	47,953
アマゴ(千尾)		629	694	531	447	476	461	436	508	499	624

イ あゆ産卵場造成事業実施状況

(単位：m²)

漁協	年度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
紀ノ川		30,000	60,000 <small>(親魚放流3,093kg)</small>	50,000	50,000	30,000	30,000	30,000 <small>(親魚放流1,500kg)</small>	30,000 <small>(親魚放流250kg)</small>	30,000 <small>(親魚放流50kg)</small>	10,000
有田川		2,800	1,800	2,800	2,700	1,400	1,500	1,600	1,600	1,600	1,600
日高川		20,000	-	400 <small>(親魚放流392kg)</small>	400 <small>(親魚放流840kg)</small>	400 <small>(親魚放流400kg)</small>	400 <small>(親魚放流956kg)</small>	400 <small>(親魚放流1,000kg)</small>	400 <small>(親魚放流1,037kg)</small>	400 <small>(親魚放流991kg)</small>	400 <small>(親魚放流1,539kg)</small>
富田川		1,500 <small>(親魚放流300kg)</small>	1,500	2,400 <small>(親魚放流300kg)</small>	2,400 <small>(親魚放流250kg)</small>	2,400 <small>(親魚放流250kg)</small>	2,400 <small>(親魚放流200kg)</small>	2,400 <small>(親魚放流200kg)</small>	2,400 <small>(親魚放流250kg)</small>	2,400 <small>(親魚放流250kg)</small>	2,400 <small>(親魚放流250kg)</small>
日置川		3,000 <small>(親魚放流200kg)</small>	3,000 <small>(親魚放流200kg)</small>	3,000 <small>(親魚放流250kg)</small>	1,200 <small>(親魚放流250kg)</small>	3,000 <small>(親魚放流250kg)</small>	3,000 <small>(親魚放流250kg)</small>	3,000 <small>(親魚放流250kg)</small>	3,000 <small>(親魚放流250kg)</small>	-	3,000 <small>(親魚放流250kg)</small>
古座川		-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,900 <small>(親魚放流250kg)</small>
計		57,300 <small>(親魚放流500kg)</small>	66,300 <small>(親魚放流3,293kg)</small>	58,600 <small>(親魚放流942kg)</small>	56,700 <small>(親魚放流1,340kg)</small>	37,200 <small>(親魚放流900kg)</small>	37,300 <small>(親魚放流1,406kg)</small>	37,400 <small>(親魚放流2,950kg)</small>	37,400 <small>(親魚放流1,787kg)</small>	34,400 <small>(親魚放流1,291kg)</small>	28,300 <small>(親魚放流2,289kg)</small>

ウ 内水面漁業振興対策施設整備事業実施状況

実施年度	事業主体	事業内容	事業費(千円)
S57	日高川漁協	アユ種苗生産供給施設 飼育施設 1,482m ² 管理施設 154.5m ²	160,700
S60	日高川漁協	アユ種苗中間育成施設 中間育成水槽 4面 給配水施設 電気設備	31,246
H7	日高川漁協	アユ種苗生産供給施設 飼育棟 978m ² 機械棟 35m ²	148,452
H11	日高川漁協	アマゴ種苗生産供給施設 飼育棟 151.5m ² 飼育水槽 23個 魚病防疫検査施設 検査棟 107m ² 生物実験機器一式	78,138
H17	日高川漁協	海水取水施設 取水井戸 300mm×15m 取水槽 9.0m ³ 取水ポンプ 濾過装置 車輻等消毒防疫施設 消毒ゲート設備、防風壁、靴替え室、場内器具等消毒通路	6,688
H23	日高川漁協	水産物加工処理施設 1F 219m ² 2F 129m ² 加工場、冷凍庫、冷風乾燥機、商品開発・研修室	104,680

(7) 金融対策事業

令和元年度貸付実績

(単位：千円)

	漁業近代化資金	漁船建造等	その他個人施設	共同利用施設	漁業振興資金	経営改善			生活改善	青年漁業者養成確保	合計
						省力化機器	省エネ機器	その他	住居改善	漁業開始	
件数		18	3	2							23
金額		145,000	4,292	168,039							317,331

主要制度資金の貸付実績

(単位：千円)

年度	漁業近代化資金		漁業経営維持安定資金		漁業経営再建資金		沿岸漁業改善資金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
S63	130	812,310					123	129,773
H元	126	871,560	7	155,000	1	131,600	129	142,715
2	105	731,510					101	125,287
3	112	742,620					127	141,465
4	100	797,808					143	142,406
5	105	901,838					150	160,000
6	102	962,186					123	193,000
7	101	764,366			1	100,000	107	238,943
8	101	736,403					87	232,183
9	94	791,782					77	254,349
10	98	797,470					67	254,100
11	67	515,990					39	149,799
12	57	540,538					55	213,075
13	38	408,084					38	100,475
14	29	407,390					16	62,130
15	30	401,560					12	15,295
16	16	200,220					16	68,421
17	38	241,290					7	34,926
18	8	26,530					5	12,868
19	37	115,960					4	4,350
20	76	327,750					4	2,340
21	16	231,070					3	1,759
22	10	107,480					2	8,800
23	21	422,550					1	930
24	8	43,300					1	20,000
25	105	322,320					2	5,200
26	61	264,960					4	17,470
27	22	82,240					3	2,187
28	23	76,530					1	1,080
29	27	256,560					0	0
30	35	345,380					0	0
R元	23	317,331					0	0

※平成17年度から漁業近代化資金には漁業振興資金を含む

(8) プレミア和歌山認定品

和歌山県では、安全・安心を基本に、幅広い分野で優れた県産品を“和歌山らしさ”、“和歌山ならではの”の視点で推奨する「和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）推奨制度」を制定しています。

生鮮水産物

平成20年度

- しよらさん鯉
- 紀州勝浦産生まぐろ
- 紀州梅まだい(養殖)

平成21年度

- 加太のマダイ
- 紀州紀ノ太刀
- すさみケンケン鯉
- 紀州梅くえ(養殖)
- 紀州梅本マグロ(養殖)
- 大瀬戸の真鯛(養殖)
- 大瀬戸の本九絵(養殖)

平成22年度

- 加太のタコ
- 戸坂のハモ
- 辰ヶ鱧
- 紀州ひろめ
- 紀州ひろめ(養殖)
- よしだ本鮪(養殖)

平成23年度

- 丈右衛門の鮎(養殖)

平成24年度

- 紀州仕立て鮎(養殖)

平成30年度

- さくらびんちょう

令和元年度

- 紀州アワビ紀和味(養殖)



紀州仕立て鮎(養殖)



加太のマダイ

魚介類の水産加工品

平成20年度	10品目
平成21年度	5品目
平成22年度	9品目
平成23年度	13品目
平成24年度	8品目
平成25年度	11品目
平成26年度	3品目
平成27年度	4品目
平成28年度	4品目
平成29年度	16品目
平成30年度	3品目
令和元年度	10品目



紀州アワビ紀和味(養殖)

海藻類の水産加工品

平成20年度	1品目
平成23年度	2品目
平成24年度	1品目
平成27年度	5品目
平成30年度	4品目

蒲鉾類

平成20年度	5品目
平成21年度	3品目
平成27年度	2品目
平成28年度	1品目
令和元年度	1品目



さくらびんちょう

(9) 魚食普及・漁業体験交流活動

漁協女性部や県漁連、漁業士連絡協議会、各漁協、市町などが連携して実践



「魚の骨を知って楽しくおいしく食べよう」出張講座



漁業士連絡協議会による魚食普及活動



漁協女性部による郷土料理の提供

漁業士連絡協議会によるタッチプール

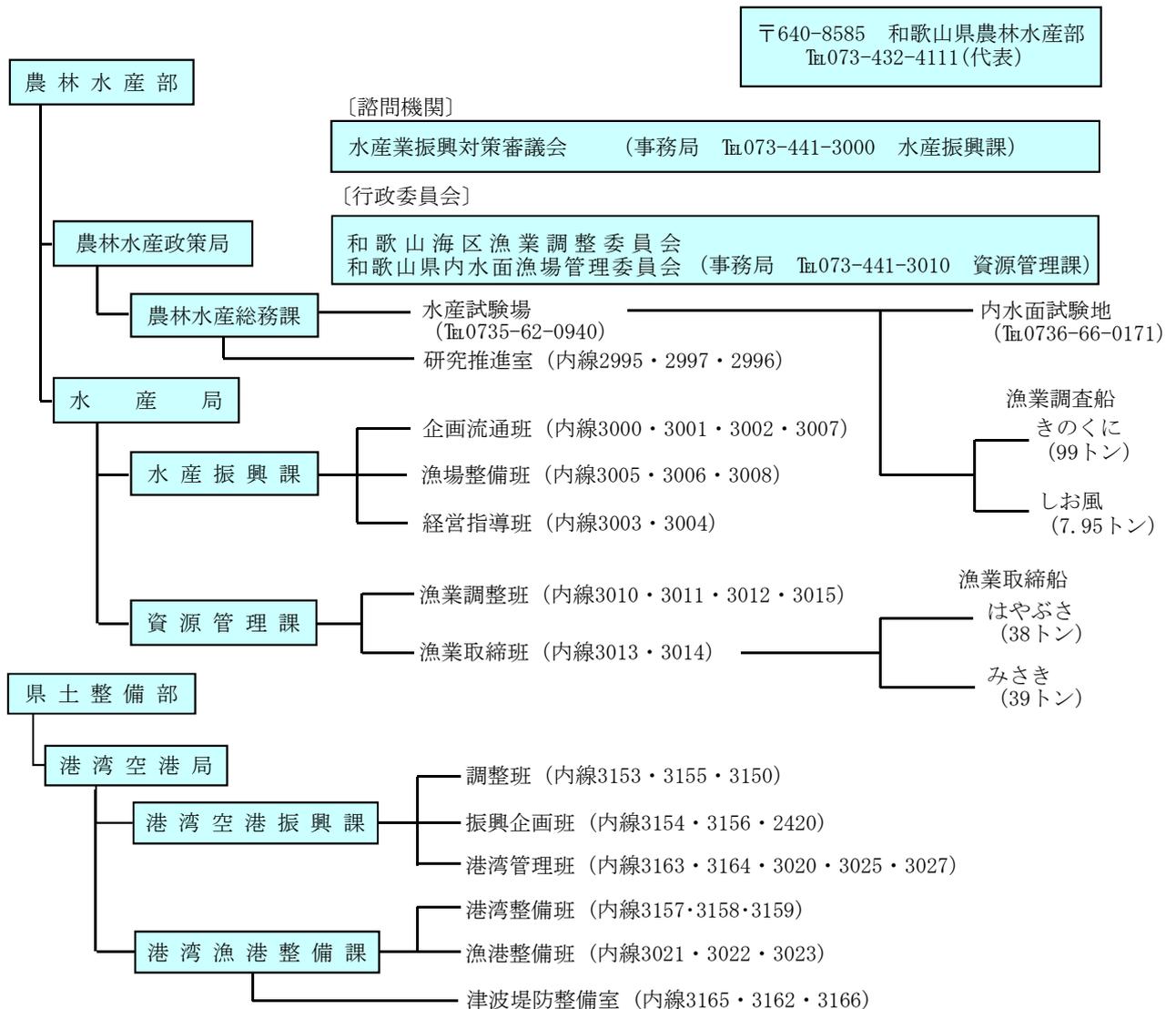


料理体験

漁港見学

III 組 織 等

(1) 和歌山県水産行政機構



[出先機関]

海草振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL073-441-3385
有田振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0737-64-1273
	管理保全課	管理グループ、保全グループ	TEL0737-64-1284
	工務課	河港グループ	TEL0737-64-1272
日高振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0738-24-2946
	管理保全課	管理グループ、保全グループ	TEL0738-24-2931
	河港課	港湾・漁港グループ	TEL0738-24-2968
西牟婁振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0739-22-1443
	管理保全課	管理グループ、保全グループ	TEL0739-26-7949
	工務課	河港グループ	TEL0739-26-7925
東牟婁振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0735-29-2011
	串本建設部管理保全課	管理グループ、保全グループ	TEL0735-62-0755
	串本建設部工務課	河港グループ	TEL0735-62-0755
	新宮建設部管理保全課	管理グループ、保全グループ	TEL0735-21-9654
	新宮建設部工務課	港湾・漁港グループ	TEL0735-21-9625
那賀振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0736-61-0025
伊都振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0736-33-4930
和歌山下津港湾事務所	総務管理課・工務課		TEL073-431-7266

(公財) 和歌山県栽培漁業協会 (事務局 TEL073-459-1225)
 (北部栽培漁業センター ")
 (南部栽培漁業センター TEL0735-67-7770)

(2) 水産関係予算（当初予算）

（単位：千円）

科目		年度	H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2
農林水産部	水産業総務費		1,164,045	1,156,744	1,147,680	1,150,071	437,995	439,123	474,717	475,153	475,683	480,330
	水産業振興費		123,301	89,804	90,565	156,926	84,279	80,181	101,457	107,508	122,565	148,793
	水産業協同組合指導費		7,002	22,509	19,816	18,869	14,511	13,919	7,757	1,683	1,136	1,113
	漁業調整費		49,442	49,976	32,216	34,291	34,208	25,430	17,660	17,553	17,273	17,835
	漁業取締費		67,842	112,241	77,641	96,959	256,727	351,033	121,081	49,215	83,636	116,306
	漁業構造改善費		257,843	198,020	310,541	302,891	331,293	375,096	381,235	926,384	636,537	765,900
	試験場費（水産試験場）		326,603	332,419	323,654	303,887	302,832	269,789	266,124	307,688	842,700	1,055,792
	計		1,996,078	1,961,713	2,002,113	2,063,894	1,461,845	1,554,571	1,370,031	1,885,184	2,179,530	2,586,069
県土整備部	水産業総務費		65,432	92,685	74,464	80,181	85,372	84,335	63,790	61,872	67,432	63,931
	漁港管理費		22,910	22,815	23,284	21,755	25,639	26,275	25,206	24,283	23,607	23,043
	漁港建設費		2,407,360	2,006,474	1,955,835	1,985,382	1,999,755	2,366,026	1,917,817	1,712,891	1,413,552	2,221,242
	漁港施設災害復旧費		125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	297,150	140,400
	計		2,621,102	2,247,374	2,178,983	2,212,718	2,236,166	2,602,036	2,132,213	1,924,446	1,801,741	2,448,616
合計		4,617,180	4,209,087	4,181,096	4,276,612	3,698,011	4,156,607	3,502,244	3,809,630	3,981,271	5,034,685	
沿岸漁業改善資金特別会計		103,146	102,649	102,413	102,380	102,333	102,225	102,155	160,687	96,361	90,931	



調査船「きのくに」平成8年11月竣工
総トン数99トン

(3) 水産団体

ア 漁業協同組合等の概況
(ア) 海面漁業協同組合

(平成30年度会計)

組 合 名		組 合 員			理事	監事	職員	電 話	出資金 (千円)	販売事業 取扱高 (千円)	製氷冷蔵 取扱高 (千円)	漁業自営 販売高 (千円)
		正 (人)	准 (人)	計 (人)								
和歌山市 海南市	加 太	84	8	92	7	3	4	073-459-0062	178,000	190,812	1,525	0
	西 脇	26	30	56	5	2	0	073-455-1832	564	64,742	620	0
	雑賀崎	62	2	64	7	2	4	073-444-2282	28,008	229,897	2,901	0
	和歌山北	43	43	86	6	2	1	073-444-0867	19,784	0	1,605	0
	和歌浦	28	6	34	5	2	0	073-445-1621	3,150	51,971	2,180	0
	海南市	62	94	156	9	3	0	073-492-2117	6,268	73,487	0	0
有田市	有田箕島	445	106	551	17	4	9	0737-83-5555	77,971	1,451,227	34,762	0
有田郡	湯浅湾	139	234	373	12	3	4	0737-62-4581	67,640	592,748	10,415	0
御坊市 日高郡	紀州日高	390	1,119	1,509	12	3	18	0738-22-0451	354,690	914,850	39,266	19,824
	由良町	28	48	76	4	2	6	0738-65-1025	14,256	439	2,706	7,918
	比井崎	81	332	413	7	2	5	0738-64-2231	91,354	81,999	15,783	3,026
	三尾	28	188	216	5	2	2	0738-62-2201	32,900	91,712	685	5,534
田辺市 西牟婁郡	和歌山南	345	359	704	9	3	23	0739-22-8520	135,847	805,749	51,551	219,551
	新庄	40	309	349	6	2	1	0739-22-2057	7,329	159	0	4,596
	堅田	132	12	144	9	3	191	0739-42-3347	28,750	0	0	842,280
東牟婁郡	和歌山東	484	1,376	1,860	13	3	43	0735-62-0080	304,715	967,686	1,053,519	45,264
	太地町	129	218	347	6	3	18	0735-59-2340	13,027	326,620	39,305	32,705
	紀州勝浦	50	24	74	5	2	0	0735-52-0951	7,400	0	0	0
	宇久井	43	35	78	5	2	5	0735-54-0008	36,365	394,024	5,587	268,821
新宮市	三輪崎	31	16	47	5	2	1	0735-31-7019	13,955	69,804	3,055	0
	新宮	44	25	69	6	2	1	0735-22-8622	600	50,085	0	0
合 計		2,714	4,584	7,298	160	52	336		1,422,573	6,358,011	1,265,465	1,449,519

(イ) 内水面漁業協同組合

(平成30年度会計)

組 合 名	組 合 員			理 事	監 事	職 員	電 話	出 資 金	放 流 量 (R1年度)	
	正	准	計						アユ	アマゴ
	人	人	人	人	人	人		千円	kg	尾
玉 川	160	36	196	13	2	1	0736-54-4640	392	942	16,666
紀ノ川	354	165	519	15	3	4	0736-66-9111	9,780	4,824	15,000
貴志川	88	637	725	19	2	1	073-495-2114	3,122	800	6,000
有田川	672	2	674	4	2	1	0737-52-4863	3,370	6,784	35,867
日高川	881	0	881	12	3	8	0738-52-0224	70,480	9,233	228,900
切目川	209	0	209	6	2	0	0738-45-0032	209	180	—
南部川	30	124	154	6	2	0	0739-33-7506	184	50	—
富田川	70	32	102	6	3	0	0739-47-0710	1,120	1,400	22,572
日置川	273	52	325	13	3	1	0739-53-0023	975	3,940	60,000
古座川	389	147	536	8	3	1	0735-72-3800	1,110	2,650	20,300
七 川	66	69	135	7	2	0	0735-77-0063	675	1,050	20,000
太田川	189	0	189	13	3	0	0735-58-0010	945	400	—
熊野川	1,252	0	1,252	11	3	0	0735-21-4193	1,252	15,700	199,000
合 計	4,633	1,264	5,897	133	33	17		93,614	47,953	624,305

(ウ) 水産加工業協同組合

(平成30年度会計)

組 合 名	組 合 員			理 事	監 事	職 員	電 話 番 号	所 在 地	出 資 金
	正	准	計						
和歌山県水産加工業協同組合	人	人	人	人	人	人			千円
	24	0	24	6	2	0	0737-63-4690	〒643-0005 有田郡湯浅町大字栖原805	2,520

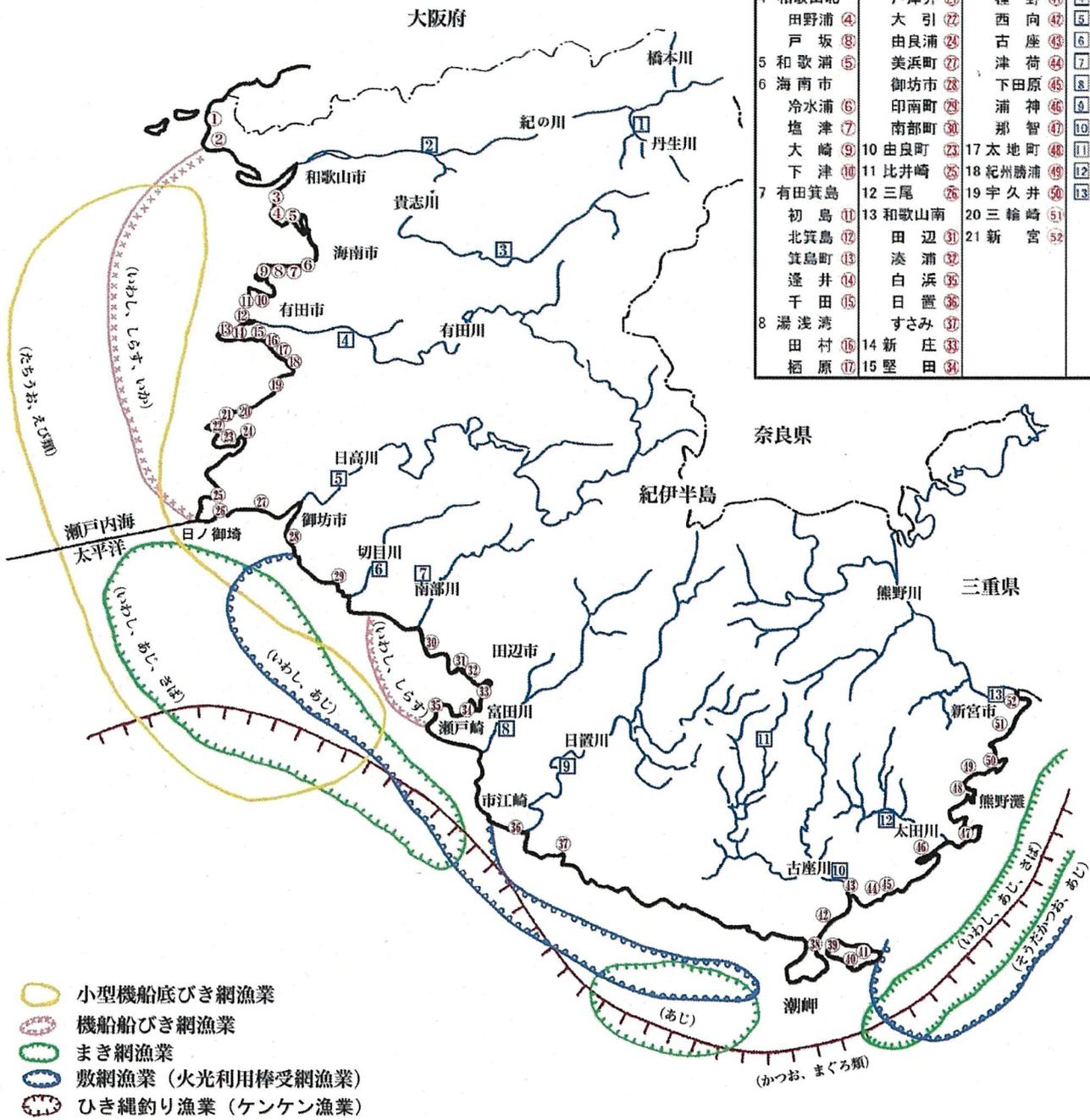
イ 漁業関係連合会等

(令和2年4月1日現在)

団 体 名	郵便番号	所 在 地	代 表 者	電 話 番 号
和歌山県漁業協同組合連合会	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁30 水産会館内	代表理事会長 木下吉雄	073-431-5101
和歌山県内水面漁業協同組合連合会	649-6112	紀の川市桃山町調月32-3 内水面試験地内	代表理事会長 大杉達	0736-66-0477
全国漁業信用基金協会 和歌山支所	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁30 水産会館内	理 事 嶋田栄人	073-432-4800
日本漁船保険組合 和歌山支所			支 所 長 濱端一生	073-422-8883
全国合同漁業共済組合 大阪・和歌山事務所			所 長 亀井睦弘	073-433-3470
(一社)和歌山県漁業相互共済会			会 長 理 事 森口康弘	
全国共済水産業協同組合連合会 和歌山支所			所 長 高崎一郎	073-428-2363
(公財)和歌山県栽培漁業協会	640-0103	和歌山市加太1767-1	理 事 長 木下吉雄	073-459-1225
なぎさ信用漁業協同組合連合会 和歌山営業本部	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁33	本 部 長 濱村規弘	073-432-0761

和歌山県の漁場概念図

海面漁協		湖沼中央		16 和歌山東		内水面漁協	
1 加太	①	唐尾	⑱	串本	⑳	① 玉川	
2 西脇	②	紀州日高	⑲	大島	㉑	② 紀ノ川	
3 雑賀崎	③	衣奈浦	⑳	須江	㉒	③ 貴志川	
4 和歌山北	④	戸津井	㉑	樫野	㉓	④ 有田川	
5 和歌山南	⑤	大引	㉒	西向	㉔	⑤ 日高川	
6 海南市	⑥	由良浦	㉓	古座	㉕	⑥ 切目川	
7 有田	⑦	美浜町	㉔	津荷	㉖	⑦ 南部川	
8 湯浅	⑧	御坊市	㉕	下田原	㉗	⑧ 富田川	
9 大崎	⑨	印南町	㉖	浦神	㉘	⑨ 日置川	
10 下津	⑩	南部町	㉗	那智	㉙	⑩ 古座川	
11 有田筑島	⑪	由良町	㉘	那智	㉚	⑪ 七川	
12 初島	⑫	比井崎	㉙	17 太地町	㉛	⑫ 太田川	
13 北筑島	⑬	12 三尾	㉚	18 紀州勝浦	㉜	⑬ 熊野川	
14 筑島町	⑭	13 和歌山南	㉛	19 宇久井	㉝		
15 逢井	⑮	14 田辺	㉜	20 三輪崎	㉞		
16 千田	⑯	15 湊浦	㉝	21 新宮	㉟		
17 湯浅湾	⑰	16 白浜	㉞				
18 田村	⑱	17 日置	㉟				
19 栢原	⑲	18 日置	㊱				
		19 新庄	㊲				
		20 堅田	㊳				



- ⋯ 小型機船底びき網漁業
- ⋯ 機船船びき網漁業
- ⋯ まき網漁業
- ⋯ 敷網漁業 (火光利用棒受網漁業)
- ⋯ ひき縄釣り漁業 (ケンケン漁業)

私たちの暮らしをうるおす魚介類は このような漁法でとられています。

和歌山県は、紀伊半島の西部に位置しています。四国との間に、魚の宝庫といわれる紀伊水道をはさみ、昔から海と大きなかかわりを持ってきました。

本県の海域は、比較的穏やかな内海性の瀬戸内海、黒潮の影響を強く受ける外洋性の太平洋に分けられ、それぞれの海域の特性に合わせ、様々な種類の漁業が行われています。

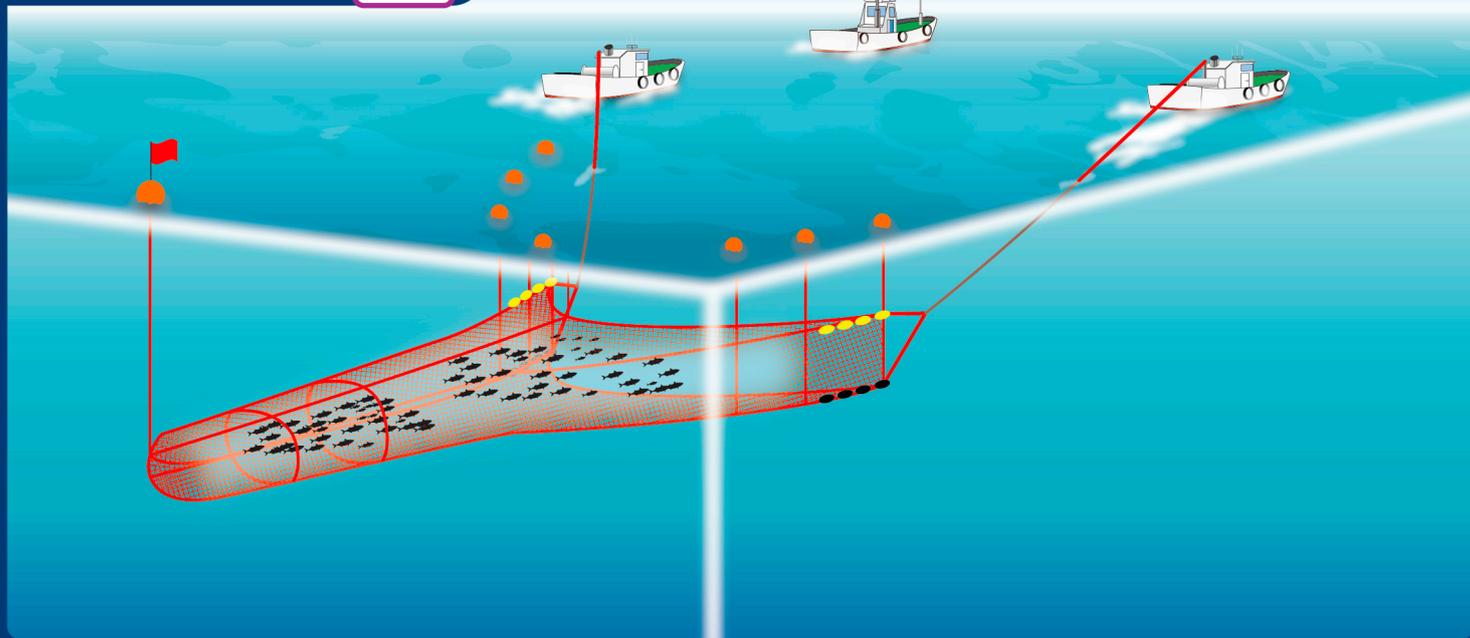
瀬戸内海海域では、一本釣り漁業、小型機

船底びき網漁業、機船船びき網漁業などが行われています。

また、太平洋海域では、ひき縄釣り漁業、はえ縄漁業、一本釣り漁業のほか、まき網漁業、定置網漁業、敷網漁業、刺網漁業などが行われています。

普段、私たちが食べている魚がどのようにして獲られているのか、みんなで一緒にふりかえてみましょう。

機船船びき網漁業



概要

袋状の網を船でひいて魚を獲る漁法です。
2隻の網船と魚探船(運搬船)の計3隻の船で漁を行います。

漁法の説明

- 1、魚探船が魚の群れを探します。
- 2、魚の群れを見つけると、2隻の網船が魚の群れに向かって網をひきます。
- 3、網をひく時間は通常、1時間～1.5時間です。

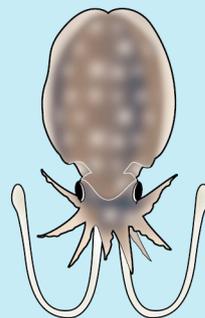
漁期

周年(盛漁期 春、秋)

漁獲物

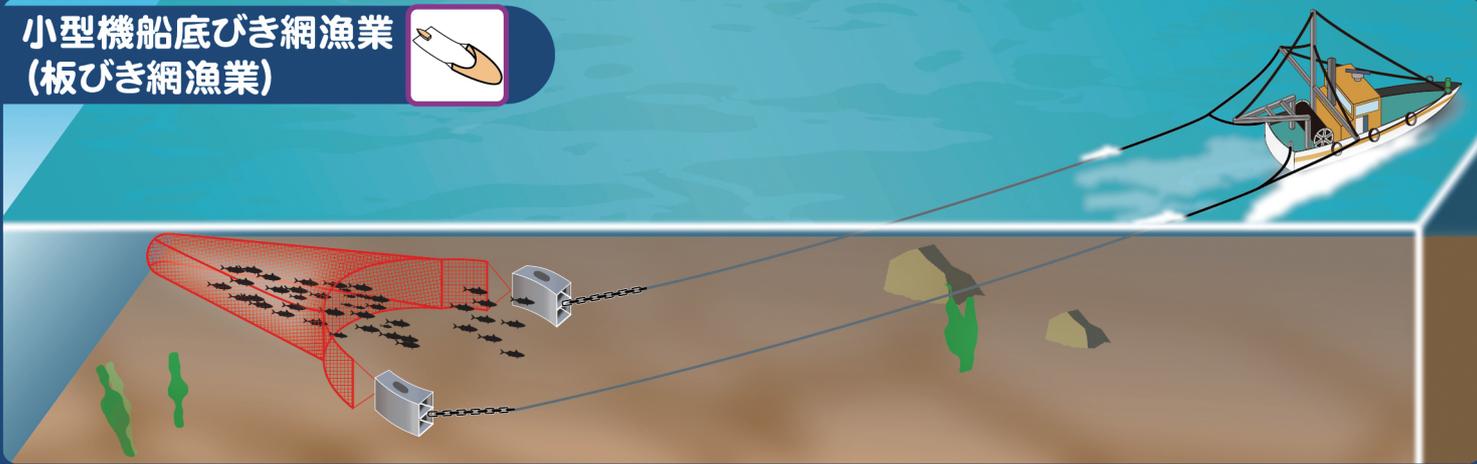


シラス



シリヤケイカ

小型機船底びき網漁業 (板びき網漁業)



概要

網の口を広げるための「開口板かいこうばん」をつけた袋状の網を船でひき、海底にいる魚を獲る漁法です。

漁法の説明

- 1、船の後ろから網を海に投げ入れます。
- 2、魚の群れを探しながら、網をひきます。
- 3、網をひく時間は約1時間です。
- 4、昼間に操業そうぎょうする場合は、午前4時頃に出港して、午後5時頃に帰港します。

※夜間に操業そうぎょうする場合は、午後2時頃に出港して翌日の午前3時頃に帰港します。

漁期

周年

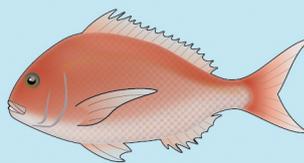
漁獲物



タチウオ



ハモ

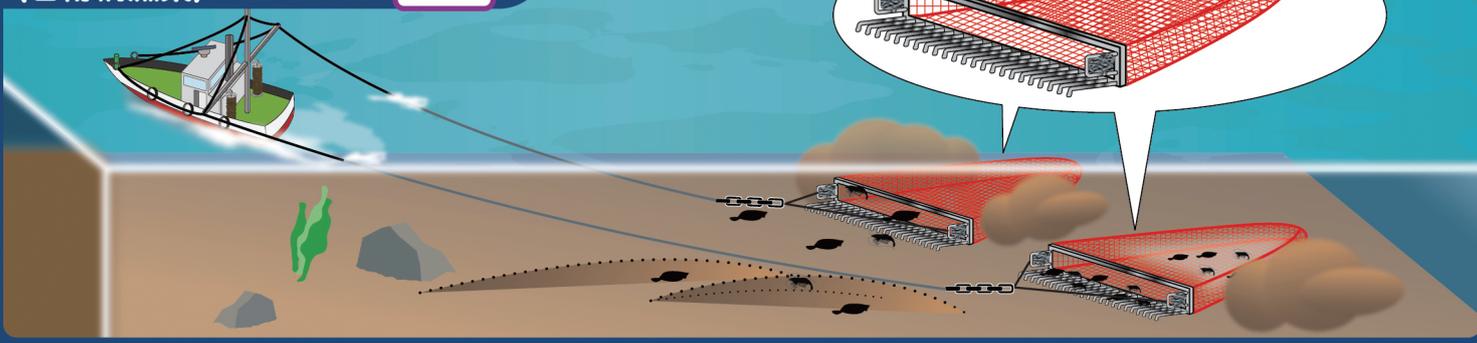


マダイ



エビ類

小型機船底びき網漁業 (石柝網漁業)



概要

鉄の柝わくと石のおもりをつけた袋状の網を海に沈め、船でひき、海底をかきおこして魚を獲る漁法です。

漁法の説明

- 1、鉄の柝わくをつけた網を海底に沈め、ワイヤーでひきます。
- 2、鉄柝わくの下側についた鉄の爪が海底をかきおこし、エビやカレイなどをとります。
- 3、網をひく時間は約45分です。

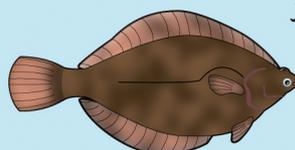
漁期

9月～翌年5月

漁獲物



エビ類

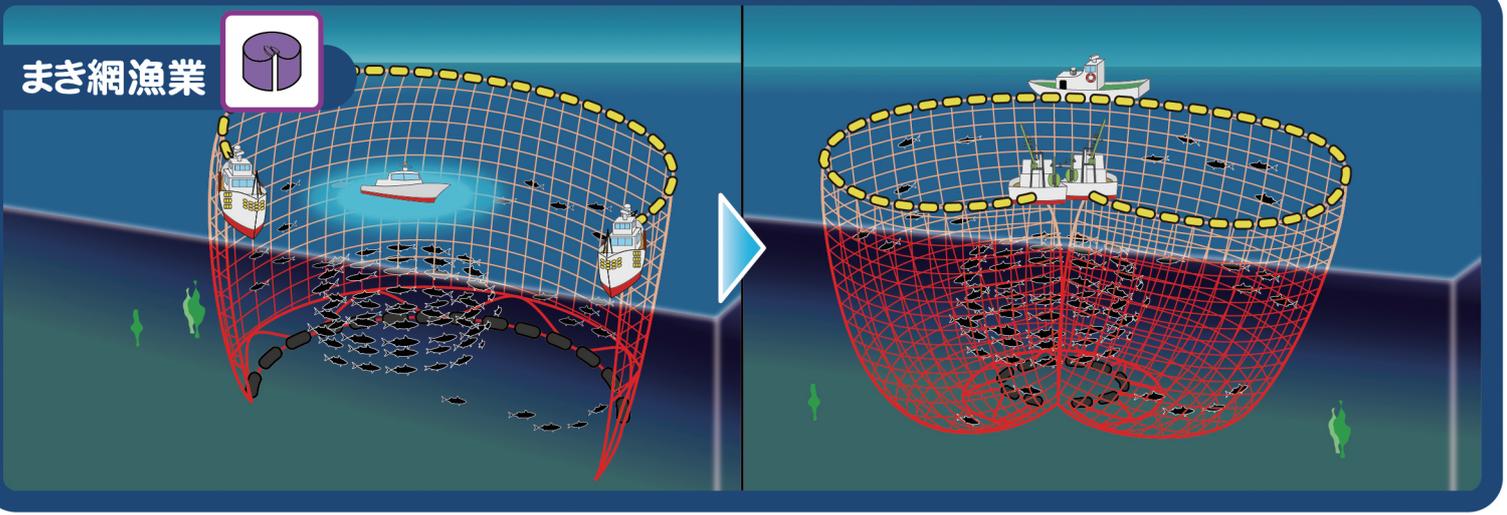


カレイ



アカシタビラメ

まき網漁業



概要

あかりで集めた魚の群れを網で取り囲み、魚を獲る漁法で、網船、魚探船（灯船）、運搬船など4～7隻で船団を組んで漁を行います。

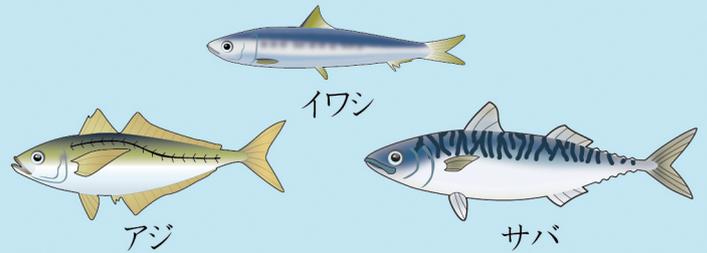
漁法の説明

- 1、魚探船が魚の群れを探し、あかりで魚を集めます。
- 2、網船は網で魚の群れを取り囲み、網の下部を巾着のようにしぼってあげます。
- 3、魚を運搬船に積み、港へ運びます。

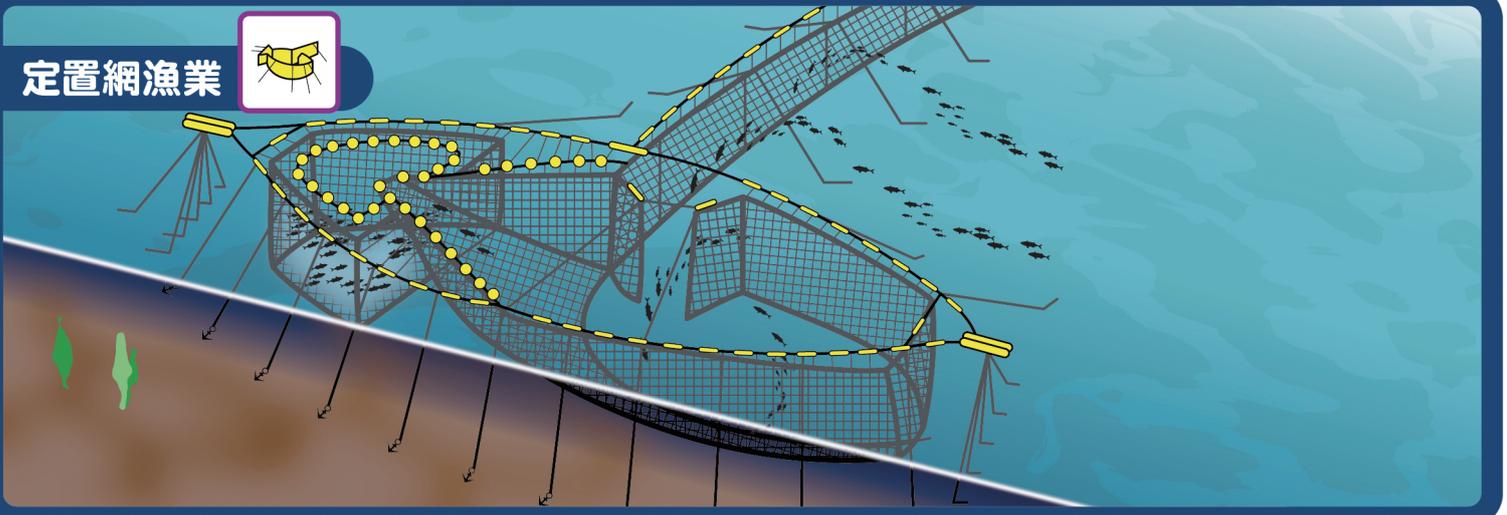
漁期

周年（盛漁期3月～10月）

漁獲物



定置網漁業



概要

魚の通り道に大型の網を設置し、魚を誘導して獲る漁法です。

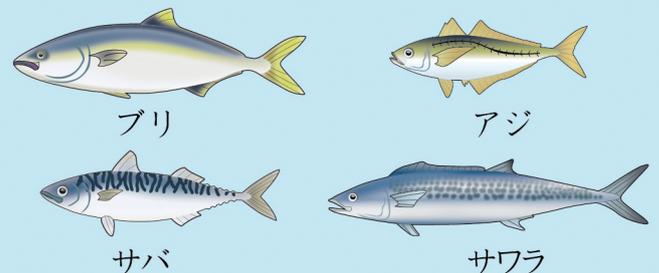
漁法の説明

- 1、海に網を設置し、魚が入るのを待ちます。
- 2、垣網（かきあみ）に沿って魚群が沖側の囲網（かこいあみ）（運動場）に誘導され、登網（のぼりあみ）を通して箱網（はこあみ）に落ちます。
- 3、通常、朝夕2回、網をあげます。

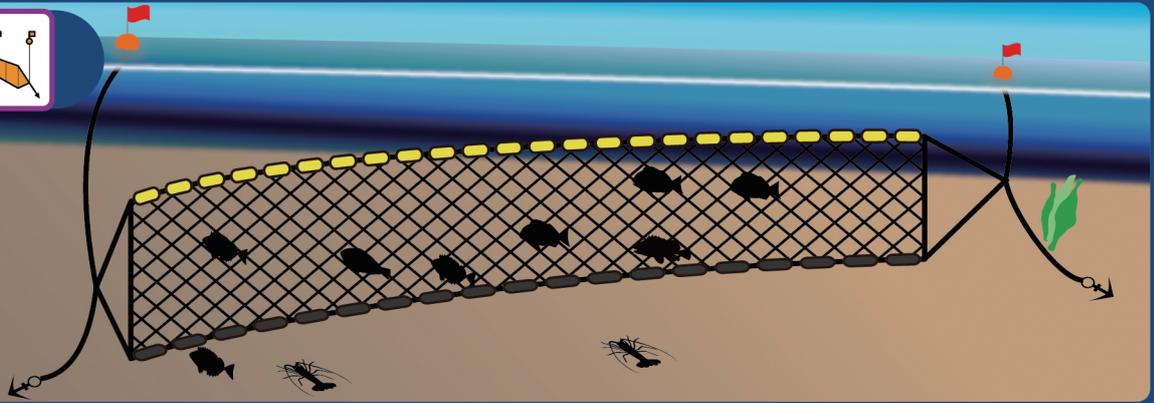
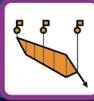
漁期

周年

漁獲物



ましあみ
刺網漁業
(固定式刺網漁業)



概要

めあい
目の異なる網地を2～3枚重ねた網を魚の通り道に仕掛け、魚を絡ませて獲る漁法です。

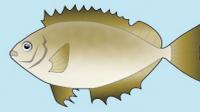
漁法の説明

- 1、岩場へゆっくり船を進め、網を繰り出します。
- 2、夕方までに網を仕掛け、翌朝にひきあげます。

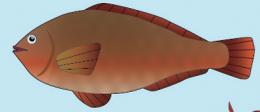
漁期

9月～翌年4月

漁獲物



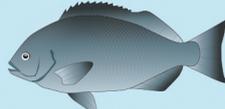
アイゴ



ブダイ



イセエビ



メジナ



カサゴ

しきあみ
敷網漁業
(火光利用棒受網漁業)



概要

あか
灯りで魚の群れを網の上に誘い、魚をすくい取る漁法です。

漁法の説明

- 1、灯りで魚を集めます。
- 2、魚が集まっている場所の反対側に網をはります。
- 3、灯りを網側に移し、魚を網の中へ移動させます。
- 4、網をすくいあげます。

漁期

4月～11月(盛漁期7月～10月)

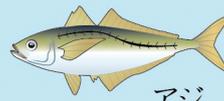
漁獲物



ソウダガツオ



イワシ



アジ



サバ

ひき縄釣り漁業 (ケンケン魚)



概要

船を走らせながら、餌にみせかけた擬餌針をつけた釣糸を複数ひいて、魚を獲る漁法です。
擬餌針を魚の遊泳層まで沈めるために、潜航板を使用します。

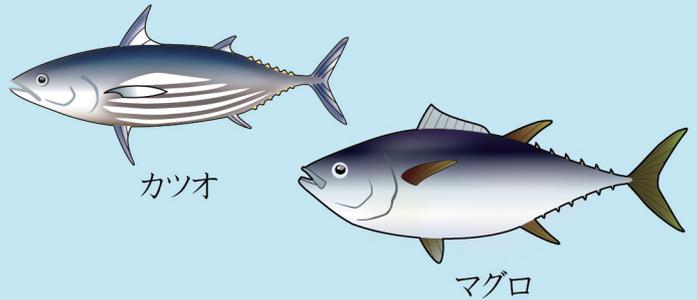
漁法の説明

- 1、1本のサオに1～3本の釣糸をつけ、船を走らせながら釣糸をひいて釣ります。
- 2、魚がかかると潜航板が反転して水面上に浮き上がるので、釣糸をたぐって魚を獲ります。

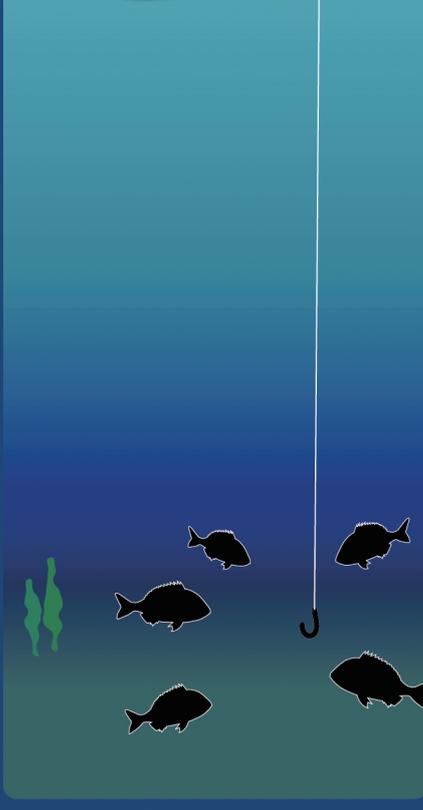
漁期

カツオ 2月～5月
マグロ 1月～3月

漁獲物



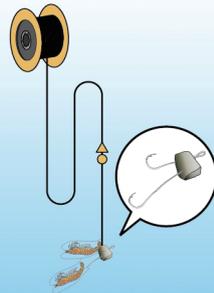
一本釣り漁業



概要

対象魚の遊泳層に合わせて釣針をおろし、魚を釣り上げる漁法です。

タイ一本釣り (カブラ釣り)



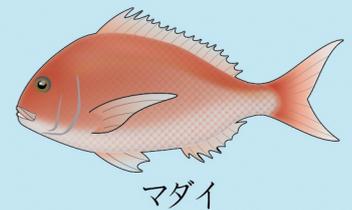
漁法の説明

- 1、餌(生きたエビ等)をつけた釣針を海底までおろします。
- 2、タイの泳いでいる深さに釣針をおろし釣り上げます。

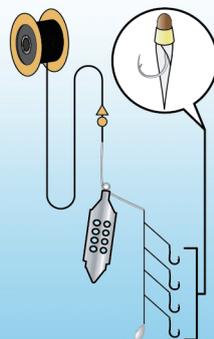
漁期

春、秋

漁獲物



アジ・イサキ 一本釣り



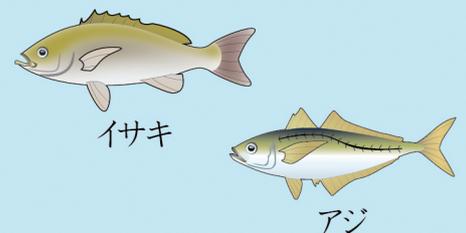
漁法の説明

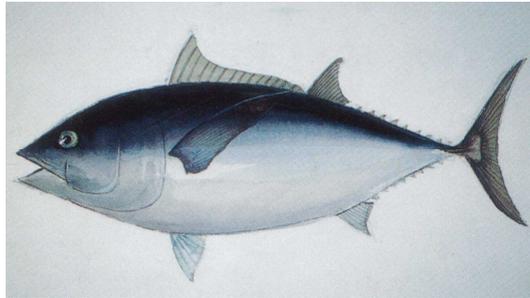
- 1、魚を集める餌をカゴに入れ水中でまきます。
- 2、餌にみせかけた擬餌針で魚を誘い釣りあげます。

漁期

周年

漁獲物





県の魚「まぐろ」
(昭和62年制定)

(令和2年6月発行)